

2 0 2 0 年 度

事 業 報 告 書

社会福祉法人 溪 仁 会

社会福祉法人 溪 仁 会 施設・事業所概要

(令和 3年 4月 1日現在)

【介護老人福祉施設】 (特別養護老人ホーム)

○西 円 山 敬 樹 園 札幌市中央区円山西町4丁目3番20号

事業開始年月日 昭和57年 4月 10日

入 所 定 員 123名 (短期入所生活介護14名)

付 帯 事 業 通所介護 (一般型30名) ・ 認知症対応型共同生活介護 (27名)
訪問介護・介護予防センター

○月 寒 あ さ が お の 郷 札幌市豊平区月寒西1条11丁目2番35号

事業開始年月日 平成23年 8月 8日

入 所 定 員 80名 (短期入所生活介護8名)

付 帯 事 業 通所介護 (一般型45名)

○岩 内 ふ れ 愛 の 郷 岩内郡岩内町字野東69番地の4

事業開始年月日 平成24年 4月 1日

入 所 定 員 50名 (短期入所生活介護10名)

○き も べ つ 喜 ら め き の 郷 虻田郡喜茂別町字伏見272番地の1

事業開始年月日 平成25年 6月 1日

入 所 定 員 80名

付 帯 事 業 訪問介護

○手 稲 つ む ぎ の 杜 札幌市手稲区前田2条10丁目1番7号

事業開始年月日 平成26年 6月 1日

入 所 定 員 80名 (短期入所生活介護10名)

付 帯 事 業 通所介護 (一般型65名) ・ 居宅介護支援・介護予防センター
通所介護 (認知症対応型12名) ・ 特定相談支援
小規模多機能型居宅介護 (登録29名)

【地域密着型介護老人福祉施設】

○菊 水 こ ま ち の 郷 札幌市白石区菊水上町4条3丁目94番地64

事業開始年月日 平成19年 7月 1日

入 所 定 員 29名

付 帯 事 業 小規模多機能型居宅介護 (登録29名)
サテライト型小規模多機能型居宅介護 (登録18名)

○るすつ銀河の杜

虻田郡留寿都村字留寿都186番地95

事業開始年月日 平成26年 4月 1日

入所定員 29名

付帯事業 通所介護（地域密着型10名）・居宅介護支援

【軽費老人ホーム】（ケアハウス）

○カームヒル西円山

札幌市中央区円山西町4丁目3番21号

事業開始年月日 平成 8年 4月 1日

入所定員 100名（特定施設入居者生活介護 含む）

【介護老人保健施設】

○コミュニティホーム白石

札幌市白石区本郷通3丁目南1番35号

事業開始年月日 平成 元年 4月10日

入所定員 100名（短期入所療養介護 含む）

付帯事業 通所リハビリテーション（55名）

訪問介護・居宅介護支援・訪問リハビリテーション

地域包括支援センター・介護予防センター

短期入所生活介護（19名）

認知症対応型共同生活介護（18名）

通所介護（一般型50名）

○コミュニティホーム八雲

二海郡八雲町栄町13番地1

事業開始年月日 平成10年 4月28日

入所定員 90名（短期入所療養介護 含む）

付帯事業 通所リハビリテーション（55名）

居宅介護支援・訪問リハビリテーション・訪問介護

○コミュニティホーム美唄

美唄市東5条南7丁目5番1号

事業開始年月日 平成12年 4月14日

入所定員 80名（短期入所療養介護 含む）

付帯事業 通所リハビリテーション（65名）

○コミュニティホーム岩内

岩内郡岩内町字野東69番地の26

事業開始年月日 平成19年 4月10日

入所定員 100名（短期入所療養介護 含む）

付帯事業 通所リハビリテーション（50名）

地域包括支援センター

訪問看護・居宅介護支援

【在宅複合施設】

○美唄市東地区生活支援センターすまいる

美唄市東4条南5丁目1番4号

事業開始年月日 平成11年 4月 1日

実施事業 通所介護（一般型25名）・訪問介護・居宅介護支援
ライフサポートアドバイザー・福祉入浴

○青葉ハーティケアセンター

札幌市厚別区青葉町4丁目10番27号

事業開始年月日 平成11年12月 1日

実施事業 通所介護（一般型40名）・居宅介護支援・訪問看護
小規模多機能型居宅介護（登録29名）
児童デイサービス（10名）

○円山ハーティケアセンター

札幌市中央区北1条西19丁目1番地2

事業開始年月日 平成21年 4月 1日

実施事業 通所介護（一般型80名）・居宅介護支援

【認知症対応型共同生活介護】（グループホーム）

○グループホーム白石の郷

札幌市白石区本郷通3丁目南1番16号

事業開始年月日 平成12年10月10日

入所定員 18名（1ユニット9名×2）

○グループホーム西円山の丘

札幌市中央区円山西町4丁目3番21号

事業開始年月日 平成14年 7月 1日

入所定員 27名（1ユニット9名×3）

【通所介護】

○西円山敬樹園デイサービスセンター

札幌市中央区円山西町4丁目3番20号

事業開始年月日 平成 8年 4月26日

通所定員 一般型30名

○デイサービスセンターすまいる

美唄市東4条南5丁目1番4号

事業開始年月日 平成11年 4月 1日

通所定員 一般型25名

○あおばデイサービスセンター

札幌市厚別区青葉町4丁目10番27号

事業開始年月日 平成11年12月 1日

通所定員 一般型40名

○デイサービスセンター白石の郷
事業開始年月日 平成12年11月20日
通所定員 一般型50名
札幌市白石区本郷通3丁目南1番16号

○円山溪仁会デイサービス
事業開始年月日 平成21年4月1日
通所定員 一般型80名
札幌市中央区北1条西19丁目1番地2

○手稲溪仁会デイサービスつむぎ
事業開始年月日 平成21年4月1日
通所定員 一般型65名
札幌市手稲区前田2条10丁目1番7号

○月寒あさがおの郷デイサービスセンター
事業開始年月日 平成23年8月8日
通所定員 一般型45名
札幌市豊平区月寒西1条11丁目2番35号

○手稲溪仁会デイサービス織彩
事業開始年月日 平成26年7月1日
通所定員 認知症対応型12名
札幌市手稲区前田2条10丁目1番7号

○るすつ銀河の杜デイサービスセンター
事業開始年月日 平成27年4月1日
通所定員 地域密着型10名
虻田郡留寿都村字留寿都186番地18

【訪問介護】

○西円山敬樹園ホームヘルプステーション
事業開始年月日 平成6年10月1日
札幌市中央区円山西町4丁目3番21号

○コミュニティホーム白石ホームヘルプステーション
事業開始年月日 平成7年10月1日
札幌市白石区本郷通3丁目南1番35号

○ホームヘルプステーションすまいる
事業開始年月日 平成11年4月1日
美唄市東4条南5丁目1番4号

○コミュニティホーム八雲ホームヘルプステーション
事業開始年月日 平成25年4月1日
二海郡八雲町栄町13番地1

○ケアセンターこころ ようてい
事業開始年月日 平成25年4月1日
虻田郡喜茂別町字伏見272番地の1

【訪問看護】

○訪問看護ステーションあおば

札幌市厚別区青葉町4丁目10番27号

事業開始年月日 平成15年 4月 1日

○訪問看護ステーション岩内

岩内郡岩内町字野東69番地の26

事業開始年月日 平成22年10月 7日

【訪問リハビリテーション】

○コミュニティホーム八雲訪問リハビリテーション

二海郡八雲町栄町13番地1

事業開始年月日 平成24年 8月 1日

○コミュニティホーム白石訪問リハビリテーション

札幌市白石区本郷通3丁目南1番35号

事業開始年月日 平成25年 5月 1日

【小規模多機能型居宅介護】

○小規模多機能型居宅介護菊水こまちの郷

札幌市白石区菊水上町4条3丁目94番地64

事業開始年月日 平成19年 7月23日

登録定員 29名

○小規模多機能型居宅介護あおば

札幌市厚別区青葉町4丁目10番27号

事業開始年月日 平成28年 9月 1日

登録定員 29名

○サテライト型小規模多機能ホームるぴなす

札幌市白石区東札幌5条3丁目2番地32号

事業開始年月日 平成31年 4月 1日

登録定員 18名

○小規模多機能型居宅介護つむぎ

札幌市手稲区前田3条9丁目2番7号

事業開始年月日 令和 元年10月 1日

登録定員 29名

【居宅介護支援】

○居宅介護支援事業所コミュニティホーム白石

札幌市白石区本郷通3丁目南1番35号

事業開始年月日 平成12年 4月 1日

○居宅介護支援事業所やくも

二海郡八雲町栄町13番地1

事業開始年月日 平成12年 4月 1日

○居宅介護支援事業所すまいる
事業開始年月日 平成12年 4月 1日
美唄市東4条南5丁目1番4号

○指定居宅介護支援事業所あおば
事業開始年月日 平成12年 7月 1日
札幌市厚別区青葉町4丁目10番27号

○溪仁会在宅ケアセンターつむぎ
事業開始年月日 平成21年 4月 1日
札幌市手稲区前田2条10丁目1番7号

○ケアプランセンターさつき
事業開始年月日 平成24年 5月 1日
岩内郡岩内町字野東69番地の26

○ケアプランセンターこころ まるやま
事業開始年月日 平成24年 7月 1日
札幌市中央区北1条西19丁目1番地2

○ケアプランセンターこころ ようてい
事業開始年月日 平成29年 1月 1日
虻田郡留寿都村字留寿都186番地18

【介護予防支援】

○札幌市白石区第1介護予防支援事業所
事業開始年月日 平成18年 4月 1日
札幌市白石区本通4丁目北6番1号

○岩内町介護予防支援事業所
事業開始年月日 平成20年 4月 1日
岩内郡岩内町字野東69番地の26

○札幌市白石区第3介護予防支援事業所
事業開始年月日 平成25年 4月 1日
札幌市白石区本郷通9丁目南3番6号

【地域包括支援センター】（札幌市・岩内町からの受託事業）

○札幌市白石区第1地域包括支援センター
事業開始年月日 平成18年 4月 1日
札幌市白石区本通4丁目北6番1号

○岩内町地域包括支援センター
事業開始年月日 平成20年 4月 1日
岩内郡岩内町字野東69番地の26

○札幌市白石区第3地域包括支援センター
事業開始年月日 平成25年 4月 1日
札幌市白石区本郷通9丁目南3番6号

【L S A】（美唄市からの受託事業）

○美唄市高齢者世話付住宅生活援助員派遣

美唄市東4条南5丁目1番4号

事業開始年月日 平成11年 4月 1日

【介護予防センター】（札幌市からの受託事業）

○札幌市中央区介護予防センター円山

札幌市中央区円山西町4丁目3番20号

事業開始年月日 平成18年 4月 1日

○札幌市中央区介護予防センター曙・幌西

札幌市中央区円山西町4丁目3番20号

事業開始年月日 平成18年 4月 1日

○札幌市白石区介護予防センター白石中央

札幌市白石区本郷通3丁目南1番35号

事業開始年月日 平成18年 4月 1日

○札幌市手稲区介護予防センターまえだ

札幌市手稲区前田2条10丁目1番7号

事業開始年月日 平成21年 4月 1日

【特定相談支援・障害児相談支援】（札幌市からの受託事業）

○相談室 ころていね

札幌市手稲区前田2条10丁目1番7号

事業開始年月日 平成25年 1月 1日

【障害児通所支援】

○児童デイサービスぱぷりか

札幌市厚別区青葉町4丁目10番27号

事業開始年月日 令和 2年 8月 1日

【自主事業】

○美唄市福祉入浴

美唄市東4条南5丁目1番4号

事業開始年月日 平成17年 5月 1日

○事業所内保育所ゆいまーる

岩内郡岩内町字野東69番地の26

事業開始年月日 平成23年11月 1日

2020年度 事業報告

施設名：西円山敬樹園

1. 総括

入所部門では、新型コロナウイルスの感染拡大によりご利用者へ様々な制限を強いることとなり、結果施設での生活を単調化させるものとなった。中でも「密」を避ける等様々な感染対策を講じて行事レクを行ってきたが、多くのご利用者の心身機能の低下を招く結果となった。入院数としては、前年度と比較し実人数で2割程減少している。反面2割以上のご利用者が複数回の入院となっているため、入院数の大幅な減少とはならなかった。短期入所では、感染対策のために新規受け入れを制限し、札幌西円山病院からのご利用者の方の受け入れとした。

在宅部門では、通所介護事業において新型コロナウイルス感染拡大による既存、新規の利用控えが顕著となり、利用者数が激減した。今後は特養との併設事業であるため、施設内感染を考慮した事業の在り方について検討する必要がある。訪問介護事業においては、非常勤職員の採用が年度計画と乖離しており、新規相談に対して担当する職員を調整することが困難となり収益についても目標値達成とはならなかった。

グループホームでは、年度中盤で入院数が増加し平均利用者数が減少したが、後半にかけて在籍数も安定し、稼働率94%となった。特養と同様、基礎疾患の悪化や状態変化での不安定さが実績に現れた結果であった。

2020年度はブロック内の全事業において新型コロナウイルスの影響は大きく、訪問介護事業では非常勤職員2名の家庭内感染が発生した他、ご利用者が感染、もしくは濃厚接触者に認定された事により支援の中断、や時間数の縮小対応となり、収益の減少となる他、代行調整等でサービス提供責任者の業務負担が増加している。同様に通所介護においても、ご利用者が感染したケースもあった。新年度においては、市内の感染状況を勘案した感染対策と経営の両面を考慮した具体策を検討し講じる事が重要と思われる。

2. 経営改善プロジェクト活動状況

「経営改善会議」を継続して定例化し、稼働率や収益単価改善のための検討、介護業務効率化へ向けた基本方針を協議してきた。2020年度から次年度への持ち越した課題もあり新年度作成した「予算利用者達成に向けた計画書」に基づきながらの活動を継続して行く。

3. 職員状況（3月末現在）

○2021年3月31日職員状況

＜西円山敬樹園（特養・短期・通所・訪問・居宅・予防）・グループホーム西円山の丘＞

・医 師：	2名（内非常勤 2名）	看 護 職 員：	10名（内非常勤 3名）
・介 護 職 員：	82名（内非常勤 9名）	生 活 相 談 員：	6名（内施設CM兼務 3名）
・介護支援専門員：	3名（内非常勤 1名）	介 護 予 防：	4名
・作 業 療 法 士：	1名	言 語 聴 覚 士：	0名
・理 学 療 法 士：	2名（内非常勤 1名）	管 理 栄 養 士：	1名
・常勤ヘルパー：	5名	非常勤ヘルパー：	27名
・事 務 職 員 他：	12名（内非常勤 1名）		
・合 計 職 員 数：	150名（内非常勤44名）		

○2020年度職員異動状況（常勤職員）

・採用：12名（看護職員：2名、介護職員：8名、リハビリ職員：1名、予防センター：1名）
 ・退職：11名（看護職員：2名、介護職員：7名、リハビリ職員：1名、事務職員：1名）

4. 研修参加・実施状況

○ 外部研修（施設職員参加状況）

・敬 樹 園：14回 ・通 所 介 護：2回 ・訪 問 介 護：5回 ・介 護 予 防：8回
 ・西 円 山 の 丘：4回

○ 内部研修（施設職員参加状況）

・入 所：事故防止	2回	感染予防	2回	抑制廃止／高齢者虐待防止	2回
褥瘡予防	1回	緊急災害	1回		
・そ の 他：新人職員研修	1回	理念の浸透・運営方針	1回	個人衛生	1回
施設サービス計画	1回	看取り研修	2回	ハラスメント研修	2回
メンタルヘルス	1回				
・敬 樹 園：	8回	・通 所 介 護：	5回	・訪 問 介 護：	7回
・西 円 山 の 丘：	11回	・介 護 予 防：	10回		

2020年度 事業報告

西門山敬樹園

【入所：定員123名】

	目 標	実 績
延入所者数	<u>43,920 人</u>	<u>43,738 人</u>
一日平均入所者数	<u>120.0 人</u>	<u>119.7 人</u>
入所待機者	<u>100人</u> (3月末現在)	
要介護度状況	: <u>平均要介護度 3.97</u>	
協力医療機関	: <u>1. 札幌西門山病院</u>	

【短期入所生活介護：定員14名】

	目 標	実 績
延入所者数	<u>3,074 人</u>	<u>2,829 人</u>
一日平均入所者数	<u>8.4 人</u>	<u>7.8 人</u>
要介護度状況	: <u>平均要介護度 2.1</u> (要支援1・2を除く)	

【通所介護：一般型30名】

	目 標	実 績
延利用者数	<u>6,168 人</u>	<u>6,816 人</u>
一日平均利用者数	<u>24.0 人</u>	<u>18.6 人</u>
要介護度状況	: <u>平均要介護度 2.0</u> (要支援1・2を除く)	

【訪問介護】

	目 標	実 績
延派遣回数（介護保険）	<u>11,876回</u>	<u>8,407回</u>
（介護保険外）		<u>6,455回</u>
一日平均利用回数（介護保険）	<u>38.6回</u>	<u>27.2回</u>
要介護度状況	： <u>平均要介護度 2.2</u> （要支援1・2を除く）	

介護予防センター】

（円山）

延相談件数 71件

相談内容（重複有）

介護保険制度：25件 権利擁護：0件 高齢者虐待：0件
 介護予防：14件
 その他：50件（認知症・心身の健康・住まい・保健福祉等）

介護予防啓発普及事業実施件数

	実施回数	参加者数（延べ）
介護予防教室	<u>78回</u>	<u>558人</u>
（以下介護予防教室での実施内容内訳。重複有）		
転倒予防	<u>78回</u>	<u>0回</u>
栄養改善	<u>0回</u>	<u>10回</u>
閉じこもり予防	<u>0回</u>	<u>61回</u>
認知症予防	<u>61回</u>	<u>4回</u>
その他の介護予防	<u>8回</u> （体力測定等）	
研修会・講演会・相談会	<u>1回</u>	<u>11人</u>
その他	<u>19回</u>	<u>189人</u>
広報物発行	<u>26回</u>	<u>5,648部</u>

【介護予防センター】

(曙・幌西)

延相談件数 20 件

相談内容（重複有）

介護保険制度： 12 件 権利擁護： 0 件 高齢者虐待： 0 件

介護予防： 5 件

その他： 6 件（認知症・心身の健康・住まい・保健福祉等）

介護予防啓発普及事業実施件数

	実施回数	参加者数（延べ）
介護予防教室	<u>43回</u>	<u>510 人</u>

(以下介護予防教室での実施内容内訳。重複有)

転倒予防	<u>36回</u>	栄養改善	<u>0回</u>	口腔機能向上	<u>4回</u>
閉じこもり予防	<u>0回</u>	認知症予防	<u>27回</u>	疾病予防	<u>6回</u>
その他の介護予防 <u>15回</u> （体力測定等）					

研修会・講演会・相談会	<u>0 回</u>	<u>0 人</u>
その他	<u>24 回</u>	<u>305 人</u>
広報物発行	<u>27 回</u>	<u>3,375 部</u>

2019年度 事業報告

西円山の丘

【グループホーム：定員27名】

	目 標	実 績
延入所者数	<u>9,767 人</u>	<u>9,251 人</u>
一日平均入所者数	<u>26.7 人</u>	<u>25.3 人</u>
入所待機者	<u>21 人</u> (3月末現在)	
要介護度状況	： <u>平均要介護度 2.25</u>	
協力医療機関	： <u>1. 札幌西円山病院</u>	

2020年度 事業報告

施設名：月寒あさがおの郷

1. 総括

2020年度においては、「接遇」の向上に加えて、5S（整理・整頓・清掃・清潔・躰）の継続推進と100%稼働、更にはワークライフバランスを意識した業務改善とICT化の推進を柱として運営にあたっていました。

新型コロナウイルス感染症の影響により、通所利用者による利用控えが断続的に続き、当センターご利用者による感染症の発症によって、ほぼ通所全職員が濃厚接触者扱いとなるなど10日間の事業休止を余儀なくされるなど、通所事業の損失は特に経営に大きく影響を及ぼす結果となりました。通所利用者に至っては、感染症発生時よりカラオケや麻雀等といった趣味活動については、今もなお一部制限せざるを得ない状況が続いております。特養入居者やご家族に対しましても、長期にわたる外出制限や面会規制により大変ご不便とご心配をお掛けすることとなりました。定期的に入居者の様子をお伝えしていくために、写真を添えて普段の様子をお伝えし、またリモート（ラインビデオ通話）面会を実施するなど、新しい取り組みでの面会等に努めて参りました。

地域への公益的な取り組みは、コロナ禍においてほぼ全てを制限されてしまうものとなり、地域との交流機会を殆ど鎖される状況となっていました。札幌市生活支援体制整備事業「月寒地区生活支援推進連絡会（協議体）」において、町内会組織の必要性を感じていない地区に対するより具体的な地域での支え合い活動について協議していくこととなりました。また近隣町内会等への広報誌の配布を継続しつつ、SNSを活用しホームページ等を通して、可能な限りの情報発信に努めて参りました。

感染対策強化の1年となり、職員におかれましては、幸いにして感染は確認されておりません。しかしながら同居家族による発熱や風邪症状等により、当法人における「感染症に関する基本方針」に基づく感染防止対策として出勤停止せざるを得なく、限られた人員の下、運営せざるを得ない状況が現在も続いております。

一方で新しい生活様式への対応を機に、施設内会議・委員会等の効率的実施やICT化（Wi-Fi環境の整備やオンラインによる研修参加）を推し進め、新たな業務改善が図られたことや、感染対策会議等を重ねていくことにより、職員一人ひとりの感染対策に関する高い意識が保たれ、同時に職員間のコミュニケーションにも繋がったことと実感できたことはコロナ禍における収穫と考えます。未だ予断を許さない状況に変わりありませんが、感染対策の更なる強化・徹底を図り、職員一丸となってこの難局を乗り越えて参ります。

2. 経営改善プロジェクト活動状況

＜活動状況＞ 施設運営会議（毎月第4火曜日 参加者：管理者・各部署責任者）毎月の経営状況における課題等について協議した。

※今年度においては同時に新型コロナウイルス感染対策について協議している。

○内 容： 毎月における各事業の目標収益・支出（人件費・事業費・事務費）・一日平均利用者数の達成状況確認と検証、

加算算定状況の確認、平均要介護度の推移、人件費率及び利益率、新規加算算定取得に向けた目標数値の達成度確認など

○実績（延利用者数 等）

入所：達成率96.4% ※稼働率95.2% 新規15名、退居12名（うち看取り4名） 延入院日数578日

短期：達成率87.0% ※稼働率54.3% DSとの併用利用者4名

通所：達成率81.9% ※稼働率66.5% 新規25名、体験37名、増回12名、中止19名 要介護度比率59.2%

○加算取得状況

特養：生活機能向上連携加算、排せつ支援加算、褥瘡マネジメント加算算定 通所：生活機能向上連携加算（介護・総合）

○費用

利用者数減に伴う給食関連費の減少、コロナ対策関連備品等購入費の増加

＜今後の展開＞

新型コロナウイルス対策の徹底を前提として、各事業体における予算利用者達成に向けた課題及び課題に対するアクションプランを共有し、実行につなげていきたい。

3. 職員状況（3月末現在）

○2021年3月31日職員状況【合計職員数89名】

特養・短期：管理者1名、医師1名（非常勤）、看護職員6名、介護職員43名（内非常勤3名）、生活相談員2名（兼務）

介護支援専門員2名（兼務）、作業療法士1名、栄養士2名、事務職員3名 介護アシスタント9名

通所：管理者1名、生活相談員2名（介護職員兼務）、介護職員6名（内非常勤1名）、看護師3名（内非常勤1名）

作業療法士1名、運転手4名、介護アシスタント2名

○2020年度職員採用・退職等状況

採用：13名【介護職員10名（内通所2名）、施設管理員1名、運転手2名】※派遣なし

退職：13名【介護職員12名（内通所3名）、介護アシスタント1名】

4. 研修参加・実施状況

○内外研修参加・実施状況（法人・溪仁会グループ研修含む）※一部対面も大半がリモートによる実施

新型コロナウイルス関連研修（札幌市・札幌市介護保険サービス事業所連絡協議会・法人内 他）、応援派遣事前研修（札幌市）

「茨戸アカシアハイツ」クラスター事例による施設内感染対策研修（講師：札幌恵友会 渡邊一史氏） 他

○実習受入等実施状況

北海道医療大学認知症看護分野認定看護師実習、札幌みなみの杜高等支援学校、札幌医療秘書福祉専門学校（リモート）

2020年度 事業報告

月寒あさがおの郷

【入所：定員80名】

	目 標	実 績
延入所者数	<u>28,835 人</u>	<u>27,804 人</u>
一日平均入所者数	<u>79.0 人</u>	<u>76.2 人</u>
入所待機者	<u>105 人</u> (3月末現在)	
要介護度状況	： <u>平均要介護度 3.8</u>	
協力医療機関	： <u>1. 勤医協月寒ファミリークリニック</u>	
	<u>2. 定山溪病院</u>	
	<u>3. 大谷地病院 ※精神科医師療養指導あり</u>	
	<u>4. 札幌朗愛会病院</u>	

【短期入所生活介護：定員8名】

	目 標	実 績
延入所者数	<u>1,825 人</u>	<u>1,587 人</u>
一日平均入所者数	<u>5.0 人</u>	<u>4.4 人</u>
要介護度状況	： <u>平均要介護度 2.3</u> (要支援1・2を除く)	

【通所介護：一般型45名】

	目 標	実 績
延利用者数	<u>9,383 人</u>	<u>8,957 人</u>
一日平均利用者数	<u>36.4 人</u>	<u>31.3 人</u>
要介護度状況	： <u>平均要介護度 1.7</u> （要支援1・2を除く）	

2020年度 事業報告

施設名： 岩内ふれ愛の郷

1. 総括

コロナ禍で利用者・ご家族に大変ご迷惑ご不便をお掛けした1年であった。そんな中でも、昨年同様入居サービスを中心に稼働率100%を目標に掲げてきた。しかし、昨年よりも介護・看護の人材不足（特に下半期より）の課題が深刻で、時間外勤務・休日勤務の増加が目立ち、下半期から迅速な入居の受入体制が実施できず、昨年度よりも入居Aveを伸ばす事ができなかった。今後、より効果的な離職防止対策・業務見直し等を推進していく必要がある。また、コロナ禍であるからこそ家族や地域住民との情報共有も促進していきたい。

1. 職員確保については、配置基準は満たしているものの介護職員数不足が深刻である。現在、コミュニティホーム岩内と連携し職員異動及び採用を継続して実施していく。
2. 入所においては一日平均入所者数48.3名と目標数を達成する事ができなかった。
3. 短期入所生活介護に関しても一日平均入所者数8.3で目標数を達成する事ができなかったが、今後も老健・居宅（さつき）との連携を図りサービス提供をしていきたい。
4. コロナ禍で、家族や地域との交流が出来ていない。コロナが終息後に2019年から実施した「ふれあいカフェ（認知症カフェ）」等も定期的に実施し交流を深めていきたい。

2. 経営改善プロジェクト活動状況

<活動状況>

1. コミュニティホーム岩内と合同で実施している「岩内コミュニティの丘運営会議」「プロジェクト会議」を月1回開催し検討課題等を情報共有することで透明性の保持や可視化することができている。
2. 岩内ふれ愛の郷単独で役職者会議・職員全体会議を月1回実施。職員会議では、現場での検討課題を中心に議論。

<成果>

- ・ 昨年同様コミ岩（老健）の待機者が、定期的に短期入所生活介護を利用していただくよう対応できた。
- ・ 一体経営に向けてふれ愛・コミ岩の職員異動等も昨年より効率的に実施できた。
- ・ 加算算定状況や人件費率及び利益率に向けた目標数値の達成度確認等、全職員に周知が図れた。

<今後の課題>

- ・ 長期にわたり人材不足が続いていることは喫緊に課題である。効果的な応募・離職防止対策等を推進していきたい。
- ・ 科学的介護情報システム「LIFE」対応のため業務改善を進めていく。
- ・ コロナ禍であり改めて、感染症含め、自然災害・介護事故におけるリスク管理の強化を図っていく。

3. 職員状況（3月末現在）

○2021年3月31日職員状況

管理者1名 医師1名（嘱託） 介護職員24名（内非常勤5名） 看護職員4名
 管理栄養士1名 事務職員2名（内非常勤1名） 生活相談員2名 介護支援専門員1名
 介護補助7名（内非常勤7名）
 合 計：43名

○2020年度職員採用・退職等状況（施設外転出者含む）

採用：5名【介護職員4名 生活相談員1名】異動：3名【介護職員2名 管理栄養士1名】
 退職：8名【看護職員1名 介護職員5名 生活相談員1名 管理栄養士1名】
 異動：8名【介護職員7名 看護師1名】（コミ岩へ異動）

4. 研修参加・実施状況

○外部研修参加状況（溪仁会グループ・キャリア支援主催研修含）

参加者延14名（コロナ禍のため前年度より回数減：昨年は28回）
 認知症介護者研修（Web）、感染症研修（岩内保健所）、エアマット利用研修（Web）、その他
 溪仁会グループ主催研修会、その他法人本部研修

○施設内研修開催回数11回（コロナ禍のため前年度より回数減）

フェードバック（虐待予防）研修、リスクマネジメント研修、嘔吐物（感染予防）処理研修、防災研修、看取り研修
 接遇研修、感染対策研修、虐待防止研修、事例検討会、その他

○岩内コミュニティの丘合同研修開催回数11回（コロナ禍のため前年度より回数減：昨年は13回）

介護現場におけるリスクマネジメント研修、オムツのあて方研修、その他

2020年度 事業報告

岩内ふれ愛の郷

【入所：定員50名】

	目 標	実 績
延入所人数	<u>18,250 人</u>	<u>17,632 人</u>
一日平均入所者数	<u>50.0 人</u>	<u>48.3 人</u>
入所待機者	<u>1 人</u> (3月末現在)	
要介護度状況	: <u>平均要介護度 3.9</u>	
協力医療機関	: <u>1. 指定管理者 医療法人溪仁会 泊村茅沼診療所</u>	
	<u>2. 岩内協会病院</u>	
	<u>3. にしざき歯科医院</u>	

【短期入所生活介護：定員10名】

	目 標	実 績
延入所者数	<u>3,481 人</u>	<u>3,057 人</u>
一日平均入所者数	<u>9.5 人</u>	<u>8.4 人</u>
要介護度状況	: <u>平均要介護度 2.85</u> (要支援1・2を除く)	

2020年度 事業報告

施設名：きもべつ喜らめきの郷・るすつ銀河の杜

1. 総括

きもべつ喜らめきの郷は、2019年4月から7ユニット稼働を再開し2020年度上期には80ベッドが満床になる日もあり上半期の稼働率が96%まで回復した。るすつ銀河の杜の稼働率は、待機者が出来ず95.5%で終わった。きもべつの稼働率はケアプランセンターころようていと連携がうまく行き、相談員の営業が要因の一つ考えられる。収支は、両施設とも年度を通し純利益が予算を上回った。きもべつの稼働率アップの要因はあるもの人手不足による人件費のマイナスも大きい。介護職員は、慢性的な人手不足の中、効率的に業務できたことは評価したい又、介護職員の離職は一定の歯止めは利いたものの、依然として職員確保が経営上の最優先課題であることは明確で、次年度も引き続きの求人活動を実施する。札幌市内と地方の職員の交流も欠かせない課題の一つであった。求人の案内は、ほとんどが紹介会社で紹介料の支出も大きい。その中で外国人技能実習の成長が目覚しく施設の雰囲気もよくなった。昨年度入職した2人は日本語も上達し業務は1人立ちし貢献している。その後入職した2人についても順調に勤務している。現在のところ来年度は外国人特定技能2名がフリピンから入職予定となっている。在宅部門においては、居宅介護支援事業所の運営も軌道に乗っており、通所介護においてもほぼ予算どおりの結果となった。又、短期入所の受入れも喜茂別町のニーズ応え稼働出来、又在宅復帰も2人することも出来た。次年度においても各事業所間の連携を強化し、在宅サービスの利用者増を目標とする。人財不足の中にあっても前向きに課題に取り組む、サービスの質を向上させるチャレンジを継続しつつ、地域ニーズも考慮した将来的な展望を視野に、柔軟な発想で今後の方向性についても検討が必要となる。今後も中長期的な視野で、施設運営の基盤固めと、ICT等（介護ロボット補助金を活用したシルエットセンサー導入済み）を活用した業務の効率化、地域の高齢者や主婦層、人材確保策の推進、人材育成を強化したい。更には2021年度介護報酬改定に伴う加算取得も積極的に取り組んでいきたい。

2020年度での看取りのケースはきもべつ喜らめきの郷では8名、るすつ銀河の杜では5名の方を看取った。亡くなる前日に入浴が出来たりコロナ禍で面会制限の中ではあったがご家族の面会も行いご満足頂ける結果になった。

2. 経営改善プロジェクト活動状況

<活動状況>

・毎月第3水曜日(16:30～)開催。 ※施設運営会議にて検討中。

1) 効率的な人員配置と業務と改善

- ・経過記録等のPC入力
- ・効率的な勤務シフト及び部署間連携の検討
- ・スポット就労及び業務委託の検討継続

2) 各種加算の算定(両施設)

- ・「日常生活継続支援加算」算定。・「認知症専門ケア加算Ⅰ」算定。
- ・看取り介護加算(きもべつ4名、るすつ2名)算定。
- ・今後も、「認知症専門ケア加算Ⅰ」の継続取得に向け、「認知症実践者研修」及び「認知症実践リーダー研修」への積極的な研修参加を支援していく。

3) 費用等の見直し

- ・清掃委託業者の業務内容と費用の検討を行い又、障がい者施設との連携を図り業務委託の検討。

4) その他

- ・人材確保策として、外国人特定技能の受け入れ態勢の確保と職員研修の充実、職員確保のための更なる住宅等の体制の整備を実施。

3. 職員状況(3月末現在)

○2021年3月31日職員状況 総職員数 96名(きもべつ62名、るすつ34名)

非常勤医師1名、看護職員7名(内非常勤1名)、介護職員70名(内非常勤12名、派遣1名)、生活相談員兼介護支援専門員5名、管理者兼生活相談員1名、管理栄養士2名、訪問介護員3名、事務職員他7名(内非常勤1名)

○2020年度職員異動状況

採用18名【介護職員16名(内正職員0名、契約13名、非常勤3名)、看護職員2名】

退職17名【介護職員17名(内正職員6名、契約10名、非常勤1名)

異動 転入2名【本部】 転出0名

4. 研修参加・実施状況

○内部研修実施回数:11回延248名参加

リスクマネジメント、感染対策、交通安全、事故防止、褥瘡ケア、虐待防止、接遇等

○外部研修参加回数:きもべつ43回延50名、るすつ8回延20名

認知症介護実践者研修、介護職員実務者研修、技能実習責任者講習後志老施協研修、溪仁会グループ及び本部主催研修等

○今後も各委員会を中心に活動のレベルアップと積極的オンラインでの研修の受講

2020年度 事業報告

きもべつ喜らめきの郷

【入所：定員80名（短期入所込み）】

	目 標	実 績
延入所者数	<u>29,200 人</u>	<u>28,218 人</u>
一日平均入所者数	<u>80.0 人</u>	<u>77.30 人</u>
入所待機者	<u>3 人</u> （3月末現在）	
要介護度状況	： <u>平均要介護度 3.64</u>	
協力医療機関	： <u>1. 喜茂別町立クリニック</u>	
	<u>2. 定山溪病院</u>	
	<u>3. 洞爺温泉病院</u>	
	<u>4. 喜茂別歯科</u>	
	<u>5. ふじ歯科クリニック</u>	

【訪問介護】

	目 標	実 績
延派遣回数（介護保険）	<u>490回</u>	<u>161 回</u>
（介護予防）		<u>回</u>
（総合事業）		<u>339 回</u>
（障がい）		<u>245 回</u>
（制度外）		<u>3 回</u>
一日平均利用回数（介護保険・総合事業）	<u>0.7 回</u>	<u>1.3 回</u>
要介護度状況	： <u>平均要介護度 1.25</u> （要支援1・2を除く）	

2020年度 事業報告

るすつ銀河の杜

【入所：定員29名】

	目 標	実 績
延入所者数	<u>10,585 人</u>	<u>10,106 人</u>
一日平均入所者数	<u>29.0 人</u>	<u>27.70 人</u>
入所待機者	<u>1 人</u> (3月末現在)	
要介護度状況	： 平均要介護度 <u>3.39</u>	
協力医療機関	： 1. <u>留寿都診療所</u>	
	2. <u>定山溪病院</u>	
	3. <u>洞爺温泉病院</u>	
	4. <u>留寿都歯科診療所</u>	

【通所介護：地域密着型10名】

	目 標	実 績
延入所者数	<u>1,391 人</u>	<u>1,531 人</u>
一日平均利用者数	<u>6.90 人</u>	<u>6.31 人</u>
要介護度状況	： 平均要介護度 <u>2.29</u> (要支援1・2を除く)	

【居宅介護支援】

	目 標	実 績
延作成件数	<u>564 件</u>	<u>541 件</u>
(うち介護予防)		<u>25 件</u>
要介護度状況	： 平均要介護度 <u>1.58</u> (要支援1・2を除く)	

2020年度 事業報告

施設名：手稲つむぎの杜

1. 総括

〇2020年度の総括

開設7年目を迎えた2020年度は、社会福祉法人溪仁会の経営基本方針の重要テーマである『100%稼働』『離職ゼロ』『リスクゼロ』を中心に、法人の経営基本方針に沿って『人財の在り方』『経営・業務の在り方』『事業の在り方』『施設の在るべき姿』を4つの柱として施設運営方針を掲げ、全職員が共有し、事業の着実な推進に取り組んだ。その結果、全事業において新型コロナウイルス感染症の影響により感染症予防対策やサービス提供方法の見直し、通所サービスの一部事業休止等苦戦を強いられた1年であった。また、介護職員をはじめとした専門職の確保が年々厳しさを増すなか様々な理由がありながらも離職者を減少させるには至らなかった。しかし、昨年開設の小規模多機能型居宅介護の運営も軌道に乗り、各事業限られた人員で感染予防を行いながらご利用者、ご家族、地域のニーズに即したサービス提供により2020年度の目標はほぼ達成されたものと考えている。今後においても、離職防止対策や働き手が減少する中での業務改善等「働き方改革」を推進するとともに、手稲つむぎの杜ブロックの中長期的な運営・経営を意識したなかで、引き続き地域に根ざした公益的取組み・サービス展開を推進していくこととする。

2. 経営改善プロジェクト活動状況

<活動状況> 施設運営会議・つむぎプロジェクト会議・入所役職者会議（原則毎月第4金曜日）にて、課題の検証と対策を協議

〇利用者の確保

入所：年間新規17名、退去19名（施設内死去16名（内：看取り13名）入院退去2名、他施設転居1名）稼働率99.1%、入居者の重度化により1ヵ月に4名の退去等もあったがスムーズな入退居調整により安定的なベッドコントロールができた。年間空床数271日。

短期：年間新規33名、稼働率83.1%、手稲区内居宅介護支援事業所を中心に安定的に利用者を紹介頂き、定期の長期ご利用者確保により目標Ave並びに延利用者数ともに予算達成。通所並びに認知通所利用者のレスパイト利用も多く、事業所間の連携も図れた。

通所：年間新規50名、稼働率67.1%、年度を通じて新型コロナウイルスによる感染予防のための環境整備、利用控え、12月には利用者の陽性者発生による5日間の営業休止、3日間の制限営業等の影響により年間を通じて予算未達であった。

認知：年間新規4名、稼働率68.3%、小規模多機能型居宅介護への利用者移行、上記通所同様の影響等もあり目標Ave・延利用者・収益ともに未達であった。

小多機：年間新規15名、稼働率62.1%（年度末登録定員29名に対し）、9月までに登録者数29名を目標としていたが職員確保が計画どおりに進まず、通所同様の影響もあり登録定員目標を24名へ修正。目標Ave・延利用者・収益ともに未達も損益においてはほぼ予算通りで推移。

居宅：年間新規34名も、下期職員1名の病休により新規受入を制限したことも影響し、延利用者数・収益ともに予算に届かなかったが、引き続きつむぎ内の各在宅事業とのスムーズな連携により、各事業所の利用者確保にも大きく貢献した。

予防：すこやか倶楽部等予防事業も活動制限、休止を繰り返し、例年の活動とは様変わりした1年となった。また、活動できない影響で相談員の欠員も発生。限られた中で地域との連携、他部署の応援、施設ギャラリースペースへの展示等において施設運営に大きく貢献。

障害：上期相談支援専門員の退職・異動に伴う欠員発生も、法人内異動で1名増員。11月より5名体制で運営できており、委託・計画相談ともに安定的に推移。事業損益においても黒字化維持。

〇各種加算の算定

入所においては「日常生活継続支援加算（Ⅱ）」、短期・通所・認知通所においては「サービス提供体制強化加算（Ⅰ）イ」を継続算定。新規事業の小多機においても、体制整備を進め年度後半より「訪問体制強化加算」「サービス提供体制強化加算（Ⅰ）イ」を算定開始。生活機能向上連携加算（入所・通所・認知通所）の継続算定、その他、入所においては経口維持加算、認知症専門ケア加算Ⅰ、口腔衛生管理加算、看取り加算等、通所においては、個別機能訓練加算（Ⅱ）等の算定により、単価維持・上昇に努めた。

〇水道光熱費及び費用の見直し

水道光熱費は前年度比▲2,414千円、使用量においては大きな削減（前年度比ガス+0.5%、電気+3.5%、融雪電力▲12.1%、水道+0.8%）は図れなかったものの単価の低下により前年より削減が図られた。

〇2021年度に向けて

従前、取得していた加算は継続し、2021年度介護報酬改正によるLIFEに関連した「科学的介護推進体制加算」の算定をはじめ、段階的に「個別機能訓練加算」取得を目指していく。

3. 職員状況（3月末現在）

〇2021年3月31日現在 職員状況 全事業合計139名（内非常勤39名、派遣6名）

入所・短期：管理者1名、医師1名（非常勤）、看護職員6名（内非常勤2名）、介護職員53名（内非常勤10名、派遣6名）、
介護支援専門員1名、理学療法士1名、管理栄養士1名、歯科衛生士1名（非常勤）、生活相談員2名、事務職員5名・計72名
通所・認知：管理者2名、看護職員5名（内非常勤3名）、介護職員32名（内非常勤17名）、作業療法士1名、
運転職員1名（非常勤）・計41名
小多機：管理者1名（介護支援専門員兼務）、看護職員1名、介護職員12名（内非常勤5名）・計14名
居宅・予防：管理者2名、介護支援専門員4名、相談職員1名・計7名
障害：管理者1名、相談支援専門員4名・計5名

〇2020年度職員採用・退職等状況（※派遣職員除く）

採用：24名【看護職員3名（入所1名、通所2名）、介護職員16名（入所11名、小多機5名）、相談職員1名（障がい1名）、
歯科衛生士1名（入所1名）、事務職員他3名（入所2名、通所1名）】

退職：26名【看護職員3名（入所1名、通所2名）、介護職員15名（入所12名、通所2名、小規模1名）、相談職員4名（入所1名、
予防2名、障がい1名）、栄養士1名（入所1名）事務職員他3名（入所1名、通所2名）】

異動：4名【事務職員2名（入所）きもべつ喜らめきの郷より1名、法人本部へ1名、相談職員2名（障がい）月寒あさがの郷より1名、
あおばデイサービスより1名

4. 研修参加・実施状況

〇外部研修参加状況（溪仁会グループ・キャリア支援課主催研修含む）※参加回数67回、延382名参加

感染症予防研修（コロナ関係）、認知症介護実践者、ユニットリーダー研修、高齢者虐待防止研修、相談従事者研修、中堅管理職講座 他

〇内部研修実施状況 ※開催回数10回、延278名参加

感染対策研修、虐待防止研修、事故防止研修、褥瘡予防研修、看取りケア研修、接遇研修、ユニットケア研修、事例検討会 他

2020年度 事業報告

手稲つむぎの杜

【入所：定員80名】

	目 標	実 績
延入所者数	<u>28,835 人</u>	<u>28,929 人</u>
一日平均入所者数	<u>79.0 人</u>	<u>79.3 人</u>
入所待機者	<u>93 人</u> （3月末現在）	
要介護度状況	： <u>平均要介護度 4.33</u>	
協力医療機関	： <u>1. 手稲溪仁会病院</u>	
	<u>2. 手稲家庭医療クリニック</u>	
	<u>3. 安永歯科</u>	

【短期入所生活介護：定員10名】

	目 標	実 績
延入所者数	<u>2,920 人</u>	<u>3,036 人</u>
一日平均入所者数	<u>8.0 人</u>	<u>8.3 人</u>
要介護度状況	： <u>平均要介護度 2.86</u> （要支援1・2を除く）	

【通所介護：一般型65名】

	目 標	実 績
延利用者数	<u>16,995 人</u>	<u>13,482 人</u>
一日平均利用者数	<u>55.0 人</u>	<u>43.6 人</u>
要介護度状況	： <u>平均要介護度 1.82</u> (要支援1・2を除く)	

【通所介護：認知症対応型12名】

	目 標	実 績
延利用者数	<u>2,938 人</u>	<u>2,520 人</u>
一日平均利用者数	<u>9.5 人</u>	<u>8.2 人</u>
要介護度状況	： <u>平均要介護度 2.48</u> (要支援1・2を除く)	

【居宅介護支援】

	目 標	実 績
延作成件数	<u>1,758 件</u>	<u>1,602 件</u>
(うち介護予防)		<u>0 件</u>
要介護度状況	： <u>平均要介護度 1.86</u>	
訪問調査件数		<u>36 件</u>

【介護予防センター】

(まえだ)

延相談件数 37 件

相談内容（重複有）

介護保険制度：11 件 権利擁護：1 件 高齢者虐待：0 件

介護予防：12 件 その他：14 件

介護予防啓発普及事業実施件数

	実施回数	参加者数
すこやか倶楽部	<u>22</u> 回	<u>299</u> 人
介護予防教室	<u>0</u> 回	<u>0</u> 人
転倒予防教室	<u>0</u> 回	<u>0</u> 人
認知症予防教室	<u>0</u> 回	<u>0</u> 人
研修会・講演会	<u>0</u> 回	<u>0</u> 人
その他	<u>8</u> 回	<u>112</u> 人

【小規模多機能型居宅介護：登録者定員24名（通い定員9名、宿泊4名）】

	目 標	実 績
延登録者数	<u>9,734</u> 人	<u>6,497</u> 人
※延通い利用者数		<u>3,151</u> 人
※延宿泊数		<u>850</u> 人
※延訪問数		<u>3,132</u> 人
一日平均登録者数	<u>26.7</u> 人	<u>18.3</u> 人

要介護度状況 ： 平均要介護度 2.31 （要支援1・2を除く）

【障がい者相談支援事業】

◇委託相談支援事業

新規登録者：115名 登録抹消者：57名 年度末登録者数：411名

■相談員1人につき82名 担当(職員5名)

(地区別) 北区：1名 清田区：1名
西区：7名 手稲区：401名 市外 1名

(障がい種別) 身体：77名 重心：4名 知的：142名 精神：116名
発達：38名 高次脳：2名 難病：5名 その他：27名

(児・者別) 障がい児：85名 障がい者：326名

支援方法 訪問：965件 来所：116件 同行：306件
電話：1,723件 ケア会議：65件
関係機関：2,575件 メール：395件 その他：371件
合計：6,516件

支援分類	福祉サービスの利用に関する支援	5,183件
	障がいや病状の理解に関する支援	24件
	健康・医療に関する支援	462件
	不安の解消・情緒安定に関する支援	168件
	保育・教育に関する支援	38件
	家族関係・人間関係に関する支援	199件
	家計、経済に関する支援	226件
	生活技術に関する支援	160件
	就労に関する支援	12件
	社会参加・余暇活動に関する支援	15件
	権利擁護に関する支援	29件
	合計	6,516件

◇指定相談支援事業（サービス等利用計画）

契約者総人数 障がい者：68件 障がい児：21件

2020年度 事業報告

施設名： 菊水こまの郷

1. 総括

特養に関しては、医療ニーズの高い入居者が多く入退院が多かった。お一人の利用者が複数回入院するケースが多く、新規入居時の精査や日頃の病状把握が課題となった。退居者数については9名と例年並みであった。100%稼働を目指す上で、退居者数・入院者数の減少が重要と考えている。(一日平均入居者数：2019年度28.01名、2020年度28.16名)

小規模多機能型居宅介護は、新型コロナウイルス感染症流行に伴い紹介件数が減少。低アベレージが年間通して続いた。(年間アベレージ2019年度27.3名、2020年度26.0名) コロナ禍における営業方法の見直し等、検討・実践している。

サテライト型小規模多機能ホームるびなすについては4月より10月まで100%稼働を維持した。その後入院による登録終了が相次ぎ、回復までに期間を要した。(年間アベレージ2019年度11.5名、2020年度17.5名)

全体として今年度稼働率100%達成の為、全事業所安定した待機の確保とともに、ご利用後入院の少なくなるよう早期発見早期治療はもちろん、医療提供範囲の見直し等行っていきたい。

事故(19件)・苦情(0件)に関して、事故については圧倒的に誤薬事故件数が多かったが、重大な事故に繋がったケースは無い。飲みこぼしが多かった為、服薬マニュアルの見直し、修正を行い改善に努めていく。転倒について骨折事故が1件あり、同様の事故が防がれるよう、ご利用者のADL等について細かく確認をしていく。

施設外研修については感染予防のため最低限必要な研修のみ参加している。施設内研修は必要研修については職員が集まらないようアンケート等を導入し開催。新年度の開催方法について、オンラインを含め検討していく。

人財確保について2019年度は派遣職員の出入りが多く、直接雇用職員の負担が大きかった。それらを踏まえ直接雇用職員の雇用増加を目指した。離職の減少だけでなく、当施設の大きな問題点であった人件費率についても成果があった。

2. 経営改善プロジェクト活動状況

<活動状況>：毎月第3月曜日(14:00～)開催

- 1) 各事業所の稼働率向上について。
- 2) 職員募集・新人介護職員教育等について(離職防止も含め)
- 3) 感染症対策 4) 接遇 5) その他

<成果>

- 1) 特養についてはご利用者に対し病状の管理、ケアの質の向上を検討。小規模に関しては白石区第3包括支援センターから定期的な紹介等もあり稼働率向上をすすめている。
- 2) 定期的にマニュアルを見直して、新人介護職員の勉強会等で使用。個人面談の回数を増やし業務内での不安や悩み等確認できた。
- 3) 施設内感染症対策について、感染委員会と連携し感染予防の方針決定、啓蒙活動を実施。
- 4) 接遇についてマニュアルの啓蒙や改善点の報告等を行った。
- 5) 事故ゼロに向け、事例検討やマニュアルの改訂に努めた。

また、感染予防のためオンラインでの会議・ミーティングの流れを検討する等、新しい取り組みを構築。

<今後の展開>

小規模多機能型居宅介護、るびなすの連携を密に行い、安定経営を目指す。また、入居に関しては中重度要介護者・認知症高齢者の受入が基本となる。そのためにも専門性の向上と業務の効率化を図っていきたい。施設全体としては新規加算獲得に向け、日頃のケアから見直し、今後の展開を検討していきたい。

3. 職員状況(3月末現在)

○2021年3月31日職員状況

医師1名(非常勤)、看護職員4名、介護職員43名(内派遣6名)、生活相談員1名、管理栄養士2名、介護支援専門員3名、リハビリ1名(非常勤)、事務職員他4名(非常勤2名)、合計59名(非常勤6名、派遣6名、産休3名)

○2020年度職員異動状況

採用14名【介護職員10名(常勤5名、非常勤2名、派遣3名)・栄養士1名・ケアマネ1名・その他2名(非常勤)】
退職14名【介護職員12名(常勤1名、非常勤4名、派遣7名)・ケアマネ1名(常勤)・栄養士1名(常勤)】

4. 研修参加・実施状況

○内部研修実施回数：12回 外部講師1回(オンライン)

接遇、リスクマネジメント、認知症の理解、緊急時対応、感染対策、交通安全、事故防止、褥瘡ケア、虐待防止、看取りケア 等

○外部研修実施回数：11回、延11名参加

ハラスメント研修、介護支援専門員専門研修、新入職員フォローアップ研修、介護実務者研修、保健師助産師看護師実習指導者講習、リーダースキルアップ研修、小規模サービス計画作成担当者研修、その他

○2021年度も各委員会中心に活動のレベルアップと積極的な外部研修参加の機会を作っていく。内部研修では感染状況が落ち着き次第、グループ等の協力を得て外部講師を多く依頼しての研修を実施していきたい。

2020年度 事業報告

菊水こまちの郷

【入所：定員29名】

	目 標	実 績
延入所者数	<u>10,585 人</u>	<u>10,280 人</u>
一日平均入所者数	<u>29.0 人</u>	<u>28.2 人</u>
入所待機者	<u>60 人</u> (3月末現在)	
要介護度状況	： <u>平均要介護度 4.25</u>	
協力医療機関	： <u>1. 広川内科クリニック</u>	
	<u>2. 白石中央病院</u>	
	<u>3. 札幌歯科口腔外科クリニック</u>	
	<u>4.</u>	
	<u>5.</u>	

【小規模多機能型居宅介護：登録者定員29名（通い定員18名、宿泊6名）】

	目 標	実 績
延登録者数	<u>10,585 人</u>	<u>9,501 人</u>
※延通い利用者数		<u>4,023 人</u>
※延宿泊数		<u>1,700 人</u>
※延訪問数		<u>4,934 人</u>
一日平均登録者数	<u>29.0 人</u>	<u>26.0 人</u>
要介護度状況	： <u>平均要介護度 1.97</u>	

【小規模多機能ホーム るびなす：登録者定員18名（通い定員9名、宿泊3名）】

目 標

実 績

延登録者数 6, 5 7 0 人 6, 3 8 5 人

※延通い利用者数 1, 8 0 9 人

※延宿泊数 3 2 人

※延訪問数 2, 5 0 5 人

一日平均登録者数 1 8 . 0 人 1 7 . 5 人

要介護度状況 ： 平均要介護度 1 . 2 7

2020年度 事業報告

施設名： カームヒル西円山

1. 総括

特定入居者生活介護登録者は、アベレージ43・5名（目標44名）、一日平均入所者数は98・7名（目標100名）、平均介護度は要介護1・0にて目標は達することが出来なかったが、平均単価が上がり、経常利益は予算を上回ることが出来た。職員の退職もなかった。

しかし、一般・特定両方の心身の機能低下があり、転倒骨折の増加・認知症が重度化してきている。転倒、骨折、リハビリ入院等は計10名（内7名は溪仁会グループ内へ）。安定した入居率を維持するためには札幌西円山病院と連携強化し、短期間のリハビリ入院やリハビリ教室の実施、生活機能向上連携加算の取得に取り組む。介護として閉じこもり予防、機能訓練などのプログラムを増やし、入居期間の延長を図っていききたい。

地域活動では、コロナ禍のため、直接会っての活動は出来なかったが、入居者さん作成のお手紙セットや手作りバッグなどを地域の子供たちにプレゼントしたり、手紙を頂いたりとの交流を図った。

2. 経営改善プロジェクト活動状況

<活動状況>

「役職者会議」月1回開催

参加メンバー：施設長、経営管理課長、介護課長、相談主任、介護主任、介護副主任、看護副主任、経営管理主任
内容：一般・特定の在籍数や月ごとの経費執行状況について報告・協議。その後の職員会議でも実績報告を行う。

<成果>

経営状況を役職者で共有でき、一般から特定への変更や住み替えの相談など、経営状況を意識した入居者調整が出来ている。個別ケースの共有も図っているが、担当会議へとつなげていきたい。

<今後の展開>

経営を意識した運営の継続をするため、介護報酬での収支を常に確認していく。入退院や住み替えを減らしていくため、閉じこもり・介護予防活動を強化していきたい。また、一般の入居者の個別支援計画を立案し（全ケース目標）、早めの課題整理、対応を行い、入居期間が延長できる様にしていきたい。

地域活動は医療法人と連携し、新たな地域支援の方法を模索するプロジェクトを立ち上げ、企画立案していく。

3. 職員状況（3月末現在）

○2021年3月31日職員状況

看護職員：2名、介護職員：15名、相談員：2名、栄養士1名、事務職員等：2名、合計：22名

○2020年度職員採用・退職等状況

退職⇒0名

採用⇒1名（介護職員）

異動⇒0名

4. 研修参加・実施状況

○参加：25回 参加者：延69名

外部研修：老人福祉施設協議会・全国軽費老人ホーム協議会・北海道社会福祉協議会等

内部研修：高齢者虐待防止研修、感染症対策研修、事故防止対策研修、施設内認知症勉強会等

2020年度 事業報告

カームヒル西円山

【入所：定員100名（特定施設含む）】

	目 標	実 績
延入所者数	<u>36,600 人</u>	<u>36,027 人</u>
（うち特定入居者）		<u>15,905 人</u>
一日平均入所者数	<u>100 人</u>	<u>98.7 人</u>
（うち特定入居者）		<u>43.5 人</u>

入所待機者（3月末現在）個人：89 人 夫婦：11 人 うち特定：26 人
（要支援1・2を含む）

要介護度状況 ： 平均要介護度 1.0 （要支援1・2を含む）

協力医療機関 ： 1. 札幌西円山病院

2020年度 事業報告

施設名：コミュニティホーム白石・白石の郷

1. 総括

2020年度は新型コロナウイルスによる緊急事態宣言発令に伴い、多床室である老人保健施設にウイルスを持ち込ませない感染対策を徹底的に行い、現在のところ陽性者は発生しておりません。ただし、通所事業を2事業抱える白石ブロックの経営への影響は大きく一度は巻き戻したものの、感染者が増えると減少するという悪循環及び陽性者の受入れを未然に防ぐため、消毒作業など介護以外の業務が増え、職員の負担感は増す一方でした。あわせて、「つながる、地域フェスタ in 白石」で繋がった関係者に感謝と今後も継続して白石地区を盛り上げる活動を計画していましたが、中止を余儀なくされました。レモンカフェなどの地域支援活動も殆どが中止となりました。今後、白石ブロックにおいて、暫くコロナと共に事業運営を行うことを考えると、在宅事業の在り方、地域支援の在り方など以前の方法に囚われず、新しいスタイルを見出す必要があり、全事業所、全職員と協議していく必要があると考えていかなければならない1年となりました。

2. 経営改善プロジェクト活動状況

<活動状況>

開催日： 毎月1回、第3月曜日に定例開催。

参加者： 施設長、経営管理部長、施設ケア部長、リハビリテーション部長、経営管理部次長、支援相談課長、施設管理課長の7名。

内 容： 利用稼働率（老健入所、通所）の確認、超強化型算定への協議（在宅復帰率、ベッド回転率、他算定要件の確認）、新規加算の算定に向けた検討、BSCアクションプラン実施に向けた検討、その他運営上の課題について協議。

<成 果>

- 1 老人保健施設は、「超強化型」を維持することが出来た。
- 2 通所サービスの在り方を検討協議し目標には達成しなかったものの、各事業が業務改善に取り組んでくれた。
- 3 2020年度BSCにおけるアクションプランの実施をリードした。（スケジュール化、企画立案等）
- 4 ショート事業の赤字圧縮を検討しSプロジェクトが発足された。

<今後の展開>

経営改善プロジェクト会議は、これまで通り白石の運営方針策定やBSC運用に際して重要な位置付けとなります。今後は万が一の感染者発生の際の職員体制整備のため、積極的なジョブローテーションを実施するための協議の場となります。あわせて、白石区地区におけるコミ白ブロックの事業運営の在り方を検討していきます。

3. 職員状況（3月末現在）

○2021年3月31日職員状況

医師1名、看護職員18名、介護職員85名、相談職員36名、介護支援専門員8名、療法士17名、管理栄養士1名、事務職員他34名、非常勤ヘルパー9名 合計209名 ※産休・育児休業2名、育児短時間勤務3名

○2020年度職員異動状況

採用：40名（看護職員 2名、介護職員14名、相談職員 2名、療法士 1名、事務職員他 3名）

退職：31名（看護職員 2名、介護職員12名、相談職員 0名、療法士 1名、事務職員他 1名）

転入： 0名

転出： 0名

4. 研修参加・実施状況

○溪仁会グループ本部主催研修会：延32名参加

○社会福祉法人本部主催研修会：延49名参加

○外部研修：外部研修は施設の判断で2020年度は参加中止とした。

○内部研修（全体研修）：「役職者研修会」33名参加、新入職員研修会6名参加

ケアの質向上委員会主催による「事例発表会」を参加者制限し2回開催し14題発表

それ以外の事業所においては視聴形式による発表方法にて実施し10演題発表

○その他、部署毎に研修計画を作成し部内研修会及び伝達講習会を参加人数制限し実施

2020年度 事業報告

コミュニティホーム白石

【入所：定員100名（短期療養含む）】

	目 標	実 績
延入所者数	35,040 人	34,819 人
一日平均入所者数	96.0 人	95.4 人
入所待機者	13 人（3月末現在）	
要介護度状況	： 平均要介護度 3.1 （短期療養除く）	
協力医療機関	： 1. 札幌西円山病院	
	2. 白石中央病院	
	3. 札幌ひばりが丘病院	
	4. 東札幌病院	

【通所リハビリテーション：定員55名】

	目 標	実 績
延利用者数	10,248 人	8,788 人
一日平均利用者数	42.0 人	36.0 人
要介護度状況	： 平均要介護度 1.8 （要支援1・2を除く）	

【短期入所生活介護：定員19名】

	目 標	実 績
延入所者数	6,131 人	5,656 人

一日平均入所者数 16.8 人 15.6 人

要介護度状況 : 平均要介護度 2.3 (要支援1・2を除く)

【訪問介護】

	目 標	実 績
延派遣回数 (介護保険)	<u>4,635 回</u>	<u>4,560 回</u>
(介護保険外)		<u>145 人</u>

一日平均利用回数 (介護保険) 15.0 回 14.8 回

要介護度状況 : 平均要介護度 1.6 (要支援1・2を除く)

【訪問リハビリテーション】

	目 標	実 績
延派遣回数 (介護保険)	<u>4,872 回</u>	<u>4,606 回</u>
(介護保険外)		<u>0 回</u>

一日平均利用回数 (介護保険) 20.0 回 19.0 回

要介護度状況 : 平均要介護度 2.5 (要支援1・2を除く)

【居宅介護支援】

	目 標	実 績
延作成件数	<u>2,340 件</u>	<u>2,342 件</u>
(うち介護予防)		<u>107 件</u>

要介護度状況 : 平均要介護度 1.8 (要支援1・2を除く)

【第1地域包括支援センター】

延相談件数 741 件

相談内容（重複有）

介護保険制度：326 件 権利擁護：11 件 高齢者虐待：4 件
 介護予防：4 件 その他の保健福祉サービス：25 件
 認知症に関すること：80 件 消費者被害に関すること：2 件
 住まいに関すること：74 件 心身の健康に関すること：22 件
 家族の疾病・障がいに関すること：4 件 その他：88 件

会議開催、参加等

	主 催	参 加
個別地域ケア会議	<u>11</u> 回	<u>0</u> 回
個別地域ケア会議の準備会	<u>18</u> 回	<u>0</u> 回
地区地域ケア会議	<u>2</u> 回	<u>0</u> 回
地区連絡会議	<u>6</u> 回	<u>0</u> 回
区地域ケア推進会議	<u>2</u> 回	<u>0</u> 回
区連絡会議	<u>6</u> 回	<u>0</u> 回
その他のケース検討会議	<u>1</u> 回	<u>4</u> 回
運営推進会議等	<u>0</u> 回	<u>21</u> 回
地区組織との連携	<u>0</u> 回	<u>4</u> 回
医療機関との連携	<u>2</u> 回	<u>0</u> 回
生活支援コーディネーターとの連携	<u>0</u> 回	<u>0</u> 回
その他関係機関との連携	<u>9</u> 回	<u>2</u> 回

新予防給付の入手とプラン作成件数

	入手数	直営プラン	再委託
要支援	<u>680</u> 件	<u>512</u> 件	<u>272</u> 件

【第3地域包括支援センター】

延相談件数 965 件

相談内容（重複有）

介護保険制度：717 件 介護予防：10 件 権利擁護：19 件
 その他の保健福祉サービス：28 件 消費者被害に関すること：2 件
 認知症に関すること：165 件 住まいに関すること：78 件
 心身の健康に関すること：27 件 高齢者の虐待に関すること：9 件
 家族の疾病・障がいに関すること：13 件 その他：139 件

会議開催、参加等

	主 催	参 加
個別地域ケア会議	<u>1 5 回</u>	<u>0 回</u>
個別地域ケア会議の準備会	<u>5 回</u>	<u>0 回</u>
地区地域ケア会議	<u>2 回</u>	<u>0 回</u>
地区連絡会議	<u>1 回</u>	<u>0 回</u>
区地域ケア推進会議	<u>3 回</u>	<u>0 回</u>
区連絡会議	<u>8 回</u>	<u>0 回</u>
その他のケース検討会議	<u>7 回</u>	<u>1 回</u>
運営推進会議等	<u>0 回</u>	<u>1 5 回</u>
地区組織との連携	<u>4 回</u>	<u>2 5 回</u>
医療機関との連携	<u>2 回</u>	<u>1 回</u>
介護支援専門員連絡協議会		<u>9 回</u>
生活支援コーディネーターとの連携		<u>3 回</u>
その他関係機関との連携	<u>5 3 回</u>	<u>8 回</u>

予防給付の入手とプラン作成件数

	入手数	直営プラン	再委託
要支援	<u>6 4 3 件</u>	<u>6 3 4 件</u>	<u>2 2 8 件</u>

【介護予防センター（白石中央）】

延相談件数 5 7 件

相談内容（重複有）

介護保険制度：2 9 件 権利擁護：0 件 高齢者虐待：0 件
 介護予防：2 0 件 その他：2 7 件

介護予防啓発普及事業実施件数

	実施回数	参加者数
すこやか倶楽部	<u>9 回</u>	<u>1 1 7 人</u>
介護予防教室	<u>4 6 回</u>	<u>7 3 0 人</u>
転倒予防教室	<u>0 回</u>	<u>0 人</u>
認知症予防教室	<u>0 回</u>	<u>0 人</u>
研修会・講演会	<u>0 回</u>	<u>0 人</u>
その他	<u>3 0 回</u>	<u>1 0, 9 1 4 人</u>

2020年度 事業報告

白石の郷

【グループホーム：定員18名】

	目 標	実 績
延入所者数	6,460 人	6,481 人
一日平均入所者数	17.7 人	17.8 人
入所待機者	35 人 (3月末現在)	
要介護度状況	平均要介護度 2.8	
協力医療機関	1. よつばクリニック	
	2. 札幌歯科口腔外科クリニック	
	3. 北郷皮膚科	

【通所介護：一般型45名】

	目 標	実 績
延利用者数	13,001 人	11,112 人
一日平均利用者数	41.0 人	38.8 人
要介護度状況	平均要介護度 1.8 (要支援1・2を除く)	

2020年度 事業報告

施設名：コミュニティホーム八雲

1. 総括

- 老健入所部門（短期含む）については、入院退所を抑制することが出来たため、計画に沿った入退所を比較的多く実現。また突発的な空床にはレスパイトを目的としたショートステイを即座に調整し年間99%超の稼働で終えることが出来た。また、開設来初めて稼働率100%を実現した月もあり、様々な部門の協力的姿勢の成果を感じた。
- 通所リハビリについては新型コロナ感染の影響により一時的に利用控えが発生。また感染拡大地域との往来により、一定期間の利用制限をお願いするなど、稼働が下がる要因がいくつもあった。また、これまでであれば利用回数増を目的とした企画イベントを行っていたが、密集回避と矛盾するために、その様な企画は控えざるを得なかった。
- 在宅復帰に伴って居宅支援事業の件数増加に繋がった。例年冬期は落ち込むが夏期需要への対応が奏功し年間においては目標を達成。同様に訪問介護の利用者も増加するが、開設より8年経過し併設事業所のみならず他事業所からの紹介が増えてきていることも、評判と成果として感じ取れ、冬期以降も増加傾向であった。
- リハスタッフについては年度内で増員できず前年より引き続きグループ内で支援を受け経過した。おかげで老健の類型については超強化型を維持できたが、訪問リハビリはニーズが有りつつも最低限の運営しかできなかった。
- 施設医師が交代となり新たな体制作りが必要となったが、入院治療を要したため長期間の医療体制不足が発生した。退院後も体調芳しくなく日を経ずして急逝されてしまい体制不足が続いているが、この期間を職員団結して乗り越えたい。
- 慢性的な人員不足により苦慮していたが、町内病院の機能移転に伴い複数名の看護師／介護職員採用が実現できた。また、介護職員においては特定技能外国人人材を1名採用し、これらにより不足気味だった看護／介護の状況は大幅に改善された。

2. 経営改善プロジェクト活動状況

- <活動状況>施設運営会議（毎月第4木曜日）において経営状況における課題等を協議
- 接遇に取り組み2年が経過したが、残念ながら前年比+1件となる8件の苦情が上がった。特にショートステイに掛かる苦情が多く、計画が適切に遂行されない事案や、自分が担当ではない場合に関与しない態度を示すような場面が見られ、職員間の情報共有や連携に問題を感じられる内容が多かった。ただし、このことにより苦情に対して正面から向き合い課題提起する機会を得られた。
 - 新型コロナウイルス感染対策のため、行事や研修などについては中止または縮小が余儀なくされ年度を終えてしまったが、地域の事情を鑑みながら制限をしつつも面会の中止と再開を細やかに行った。
 - 介護ロボット導入支援助成金の拡充により見守りセンサーの導入に併せ施設内のWi-Fi敷設工事が実現。タブレット面会やオンライン研修のインフラとして資することもでき、今後の機器導入についても可能性が広がった。
 - 肺炎による入院退所が長年の課題であることから《肺炎減少プロジェクト》を発足。肺炎球菌ワクチン未接種者への働きかけや、誤嚥による肺炎リスクが高い利用者を選出するチェックツールを作成した。効果的な運用はこれからとなるが、これらの取組みが肺炎の低減に繋がるよう期待している。
 - 腰部アシストベルト（スマートスーツ）を労災対策および福利厚生制度として購入支援した。
 - 新型コロナ対策割増報酬が毎月20万円程度計上した。（6月～3月）
 - 新型コロナ包括支援金を余すところなく申請し、経営の補助を得られた。
- <今後の展開>
- 介護報酬の改定に対応するため、LIFEの勉強会やミーティングを行い新規加算の取得と定着を目指す。また、BCPや法的研修などへの対応を新年度の中で作り上げていく。
 - 在宅復帰指標を意識しながら戦略的なベッドコントロールを行い在宅事業との相乗効果とを高め、部分最適と全体最適を目指す。
 - 人材の充足感を感じ新年度を迎えられるので、このことを大切に施設の求心力を高められるようHRMを意識した運営を行う。
 - 介護機器やICT機器の導入によって業務負担が軽減されるように積極的な検討をしていきたい。
 - 新型コロナウイルスの状況変化を見据えながら、面会やイベントなどの再開を模索しながら実施していく。

3. 職員状況（3月末現在）

- 2021年3月31日職員状況
看護14名（内非常勤2名）、介護（介護助手含む）56名（内非常勤18名）、療法士7名（内非常勤2名）、管理栄養士2名、CM6名、訪問介護員3名、相談4名、事務他12名（内非常勤8名）、《合計》104名（常勤75名、非常勤29名）
- 2020年度職員異動状況
採用：22名（医師1名、看護9名、介護8名、介護助手1名、事務2名、運転手1名）
退職：24名（医師1名、看護5名、介護10名、介護助手3名、事務1名、運転手1名、療法士1名、訪問介護員2名）

4. 研修参加・実施状況

- | | |
|---|----------------|
| ○内部研修：新型コロナ対策研修、身体拘束研修、安全衛生委員研修、介護報酬勉強会 等 | 合計 7回 延 221名参加 |
| ○外部研修(法人内)：中堅管理職講座、新人職員研修およびフォローアップ研修、広報研修会 等 | 合計 9回 延 21名参加 |
| ○外部研修(法人外)：ハラスメント研修、高齢者虐待防止研修、部下との話し方 等 | 合計 9回 延 20名参加 |

2020年度 事業報告

コミュニティホーム八雲

【入所：定員90名（短期療養含む）】

	目 標	実 績
延入所者数	32,047 人	32,637 人
一日平均入所者数	87.8 人	89.4 人
入所待機者	7 人（3月末現在）	
要介護度状況	： 平均要介護度 3.1（短期療養除く）	
協力医療機関	： 1. 八雲総合病院	
	2. ヤクモ歯科クリニック	
	3. _____	

【通所リハビリテーション：定員55名】

	目 標	実 績
延利用者数	8,514 人	8,154 人
一日平均利用者数	33.0 人	31.6 人
要介護度状況	： 平均要介護度 1.9（要支援1・2を除く）	

【訪問リハビリテーション】

	目 標	実 績
延利用者数	488 人	236 人
一日平均利用者数	2.0 人	1.0 人
要介護度状況	： 平均要介護度 1.0 (要支援1・2を除く)	

【訪問介護】

	目 標	実 績
延派遣回数 (介護保険)	2,936 回	2,997 回
(介護保険外)		24 回
一日平均利用回数 (介護保険)	9.5 回	9.8 回
要介護度状況	： 平均要介護度 2.2 (要支援1・2を除く)	

【居宅介護支援】

	目 標	実 績
延作成件数	1,140 件	1,166 件
(うち介護予防)		233 件
要介護度状況	： 平均要介護度 2.0 (要支援1・2を除く)	

2020年度 事業報告

施設名：コミュニティホーム美唄・すまいる

1. 総括

- ・入所（短期療養含む）の1日平均入所者数：目標値78.6人、実績値75.5人、差異▲3.1人で目標未達成。
内訳：入所者52人（平均介護度2.7は昨年度同様）、退所者57人
- ・通所リハの1日平均利用者数：目標値53.2人、実績値48.7人、差異▲4.5人で目標未達成。
- ・通所介護の1日平均利用者数：目標値21.0人、実績値18.2人、差異▲2.8人で目標未達成。
- ・訪問介護の1日平均利用回数：目標値50.2人、実績値43.7人、差異▲6.5人で目標未達成。
- ・美唄ブロック全体において、収益予算対比 達成率 96.0%、利益達成率 61.6%の結果となりました。
1年間を通して、新型コロナウイルスの感染対策を講じながら事業の推進に努めたものの、目標達成までには至らなかったところです。
今年度においても、美唄ブロック全体で感染対策を十分に行いながら、利用者様に適切なサービスの提供、職員の健康管理、健全な事業運営を継続していきたいと思います。

2. 経営改善プロジェクト活動状況

<活動状況>

- ・年度当初に目標を設定し、進捗状況を確認しながら、毎月の施設運営会議において実施状況の成果を報告、確認し、解決が必要な課題について検討を行い、経営改善の早期解決に努めました。

<成果>

- ・各部署・事業所間で情報共有を行うことにより、経営改善に必要な課題点が明確になりました。
- ・情報共有、課題に対しての早期対応、解決を行うことにより、経営状態の悪化の改善や感染予防の推進を図ることができました。

<今後>

- ・今後も感染対策を行いながら、施設事業・在宅事業の連携をはかり、利用者様の生活を支えられるようサービスの提供を継続実施するとともに、新規利用者の獲得、既存利用者の確保、費用の節減等を意識し、目標としている収益が確保できるよう努めていくこととします。

3. 職員状況（3月末現在）

2021年3月31日職員状況

（コミュニティホーム美唄）

- ・医師1名、看護職員15名（内非常勤5名、准看護師含む）、介護職員53名（内非常勤17名）、栄養士1名、相談員4名
- ・事務・施設管理職員8名、リハビリ職員8名（理学療法士5名、作業療法士3名）、清掃職員5名（非常勤）、運転職員6名（非常勤）
- ・合計101名（内非常勤28名）

（すまいる）

- ・介護支援専門員5名、訪問介護員26名（内非常勤21名）、看護職員2名、介護職員6名（内非常勤2名）
- ・事務職員8名（内非常勤5名）、作業療法士1名
- ・合計48名（内非常勤28名）

2020年度職員採用・退職等状況

（コミュニティホーム美唄）

- ・採用：13名（介護職員8名、理学療法士2名、看護職員1名、事務職員1名、清掃職員1名）
- ・退職：9名（介護職員7名、相談職員1名、清掃職員1名）

（すまいる）

- ・採用：1名（訪問介護員1名）
- ・退職：2名（介護職員1名、訪問介護員1名）

4. 研修参加・実施状況

（コミュニティホーム美唄・すまいる）

○外部研修参加回数：11回

中堅管理職講座、ケアマネ更新研修、新人職員研修、現場で役立つ医療と薬の知識向上研修、日医産業医研修会、看護職会議
ビジョン福祉40夢プロジェクト、新人職員フォローアップ研修、アンガーマネジメント研修、危険物取扱者保安講習

○内部研修参加回数：10回

不適切ケアの学習、KYT研修会、救命救急・AED講習会、手指衛生学習会、褥瘡予防研修会、新型コロナ緊急対策感染予防動画視聴
身体拘束廃止、高齢者虐待防止研修、認知症ケア学習会、事故防止研修
新型コロナウイルス感染予防を十分に行いながら外部研修、内部研修に参加。
テレビ会議システムを使用して研修参加を行い、知識・情報共有に努めた。

2020度 事業報告

コミュニティホーム美唄

【入所：定員80名（短期療養含む）】

	目 標	実 績
延入所者数	<u>28,689 人</u>	<u>27,633 人</u>
一日平均入所者数	<u>78.6 人</u>	<u>75.5 人</u>
入所待機者	<u>13人</u> （3月末現在）	
要介護度状況	： <u>平均要介護度 2.7</u> （短期療養除く）	
協力医療機関	： <u>1. 市立美唄病院</u> <u>2. 宝崎歯科分院</u>	

【通所リハビリテーション：定員65名】

	目 標	実 績
延利用者数	<u>12,982 人</u>	<u>11,854 人</u>
一日平均利用者数	<u>53.2 人</u>	<u>48.7 人</u>
要介護度状況	： <u>平均要介護度 2.1</u> （要支援1・2を除く）	

2020年度 事業報告

美唄市東地区生活支援センターすまいる

【通所介護：一般型30名】

	目 標	実 績
延利用者数	<u>5,418 人</u>	<u>4,716 人</u>
一日平均利用者数	<u>21.0 人</u>	<u>18.2 人</u>
要介護度状況	： <u>平均要介護度 1.7</u> (総合事業を除く)	

【訪問介護】

	目 標	実 績
延派遣回数 (介護保険)	<u>15,450 人</u>	<u>13,500 人</u>
(介護保険外)		<u>4,298 人</u>
一日平均利用回数 (介護保険)	<u>50.2 人</u>	<u>43.7 人</u>
要介護度状況	： <u>平均要介護度 1.8</u> (総合事業を除く)	

【居宅介護支援】

	目 標	実 績
延作成件数	<u>2,388 件</u>	<u>2,360 件</u>
(うち介護予防)		<u>369 件</u>
要介護度状況	： <u>平均要介護度 2.1</u> (総合事業を除く)	

【福祉入浴】（自主事業）

延利用者数 2, 249 人

一日平均利用者数 17.6人

【高齢者世話付住宅生活援助員派遣事業（LSA）】（受託事業）

対応件数 4, 5 5 4 件

(安否確認： 3, 861 件 相談連絡： 558件 健康異変： 71件

ガス漏れ警報器： 6件 非常呼出： 27件 その他： 31件)

2020年度 事業報告

施設名：コミュニティホーム岩内

1. 総括

コロナ禍で利用者・ご家族に大変ご迷惑ご不便をお掛けした1年であった。そんな中でも、昨年同様入居サービスを中心に稼働率100%を目標に掲げてきたが、入所については一日平均入所者数96.8名で、平均入所者数100名の目標を下回った。コミュニティホーム岩内と岩内ふれ愛の郷の2つの施設が連帯感を持った一体経営に向けてより具体的に人事異動等実施することができた。今後、改めて新型コロナウイルスやインフルエンザ等の感染症蔓延防止対策が今後も課題といえる。

1. 通年「加算型」を取得する事ができた。今後の課題としては加算型から、在宅強化型そして超強化型へステップアップ出来るシステムを構築する事が（人員も含め）重要になってくる。プロジェクト会議等でも検討していきたい。
2. リハビリに関しても入所短期集中・入所認知症短期、そして通所リハは通所リハマネ加算（Ⅱ・Ⅲ）を積極的に取得する事ができた。今後も計画的に効率よくリハビリ実施し、加算算定取得していきたい。
3. 訪問看護は、介護保険・医療保険共に目標数値達成する事ができなかったが、訪問リハビリの要望が多くあるためセラピストの配置等も含め新規事業を視野に入れ調整を図っていききたい。
4. 居宅介護支援事業所、地域包括支援センターは、延利用数の目標をほぼ達成する事ができた。また、地域包括支援センター主催の介護予防の「はつらつ元気塾」や「ぱびっと健康クラブ」等の地域活動に関してはコロナ禍であり岩内町とも協議して中止とした。また、包括支援センター独自で実施していた「認知症カフェ」についても中止した。
5. 昨年同様に事業所内保育所を利用する職員は減少傾向にあるが、子育て中の女性職員中心に働きやすい環境が提供できている。また、2020年度はコロナ禍で実施できなかったが利用満足度の向上の取り組みとして懇談会の開催を予定している。
6. 特定疾患療養費加算やターミナル加算も算定することができている。
喫緊の課題は人材確保と人材育成である。介護職員は当然であるが、看護師やリハビリ職等の専門職の確保が昨年よりも厳しい状況である。安定した職員の確保と年代別の職員育成、そして、働きやすい職場環境作りを推進していきたい。

2. 経営改善プロジェクト活動状況

<活動状況>

1. 岩内ふれ愛の郷と合同で実施している「岩内コミュニティの丘運営会議」「プロジェクト会議」を月1回開催し検討課題等を情報共有することで透明性の保持や可視化することができている。
2. 「プロジェクト会議」では新型コロナウイルス予防、感染防止等についても十分に検討し対応した。

<成果>

- ・ 「プロジェクト会議」にて在宅復帰阻害要因等の検証を行い通年「加算型」算定することができた。
- ・ ふれ愛の短期入所生活介護を利用者が定期的にコミ岩の入所する事ができた。
- ・ 昨年よりもコロナ禍で回数減であったが、一体経営に向けてふれ愛・コミ岩の職員合同研修の開催できた。
- ・ 加算算定状況や人件費率及び利益率に向けた目標数値の達成度確認等、全職員に周知が図れた。

<今後の課題>

- ・ 長期にわたり人材不足が続いていることは喫緊に課題である。効果的な応募・離職防止対策等を推進していきたい。
- ・ 科学的介護情報システム「LIFE」対応のため業務改善を進めていく。
- ・ コロナ禍であり改めて、感染症含め、自然災害・介護事故におけるリスク管理の強化を図っていく。

3. 職員状況（3月末現在）

○2021年3月31日職員状況 <入所・DC・包括・居宅・訪問看護>

医師1名、理学療法士8名、作業療法士2名、管理栄養士2名、栄養士1名、看護職員27名（内非常勤・嘱託・派遣13名）
相談職員5名（内非常勤1名）、介護職員75名（内非常勤29名）、介護支援専門員4名（内非常勤2名）
事務職員8名（内非常勤3名）、施設管理職員1名、運転職員8名（内非常勤8名）、リハアシスタント2名、合 計：144名

○2020年度職員採用・退職等状況（施設外転出者含む）

採用：15名【介護 3名、看護 8名、包括 2名、事務 2名】
退職：24名【介護16名、看護 5名、包括 1名、事務 1名、運転 1名】
異動：13名【介護10名、看護 3名】育児休業：4名、産前産後休業：4名、病欠：3名

4. 研修参加・実施状況

○外部研修参加状況（溪仁会グループ・キャリア支援主催研修含）参加者延97名

中堅管理者研修、接遇研修、終末期リハ研修、認知症初期集中支援研修、施設看護師専門研修、介護福祉士実務者研修、その他

○施設内研修開催回数14回

緊急時対応研修、ケアプラン研修、AED講習会研修、虐待研修、事故防止研修、感染対策研修、事故対策研修、その他

○岩内コミュニティの丘合同研修開催回数11回

介護現場におけるリスクマネジメント研修、オムツのあて方研修、その他

2020年度 事業報告

コミュニティホーム岩内

【入所：定員100名】

	目 標	実 績
延入所者数	<u>35,360 人</u>	<u>35,360 人</u>
一日平均入所者数	<u>100.0 人</u>	<u>96.8 人</u>
入所待機者	<u>0 人</u> (3月末現在)	
要介護度状況	: <u>平均要介護度 2.70</u>	
協力医療機関	: <u>1. 岩内協会病院</u>	
	<u>2. 済生会小樽病院</u>	
	<u>3. 中村歯科医院</u>	

【通所リハビリテーション：定員50名】

	目 標	実 績
延利用者数	<u>10,492 人</u>	<u>10,009 人</u>
一日平均利用者数	<u>43.0 人</u>	<u>41.0 人</u>
要介護度状況	: <u>平均要介護度 1.32</u> (要支援1・2を含む)	

【地域包括支援センター】

延相談件数 168件

相談内容（重複有）

介護保険制度： <u>86件</u>	代行申請： <u>32件</u>
認知症： <u>8件</u>	生活支援： <u>2件</u>
権利擁護： <u>1件</u>	高齢者虐待： <u>5件</u>
介護予防・リハビリ： <u>2件</u>	入所： <u>3件</u>
認知症カフェ： <u>0件</u>	その他 <u>29件</u>

会議開催、参加等

	主 催	参 加
コミ丘会議	<u>0回</u>	<u>12回</u>
役場・包括連絡会議	<u>7回</u>	<u>7回</u>
センター会議	<u>12回</u>	<u>12回</u>
地域ケア会議（個別処遇会議）	<u>5回</u>	<u>5回</u>
自立支援型地域ケア会議（擬似会議）	<u>1回</u>	<u>2回</u>
虐待対応ケース会議	<u>0回</u>	<u>4回</u>
認知症初期集中支援チーム員検討会議	<u>0回</u>	<u>1回</u>
認知症サポーター養成講座（打合せ含む）	<u>0回</u>	<u>2回</u>
居宅・包括連絡会議	<u>2回</u>	<u>2回</u>
町内地区組織・関係機関との会議	<u>0回</u>	<u>15回</u>
町総合計画策定会議	<u>0回</u>	<u>1回</u>

新予防給付の入手とプラン作成件数

	入手数	直営プラン	委託プラン
要支援（予防給付）	<u>38件</u>	<u>1039件</u>	<u>0件</u>
予防ケアマネジメント（総合事業）			
	入手数	直営プラン	委託プラン
	<u>34件</u>	<u>749件</u>	<u>0件</u>

【訪問看護】

	目 標	実 績
延派遣回数	<u>5, 0 0 2 回</u>	<u>4, 5 1 9 回</u>
(うち介護保険外)	<u>8 5 4 回</u>	<u>7 5 2 回</u>
一日平均利用者数	<u>2 0 . 5 人</u>	<u>1 8 . 5 人</u>
要介護度状況	: <u>平均要介護度 1 . 5 5</u> (要支援1・2を含む)	

【居宅介護支援】

	目 標	実 績
延作成件数	<u>4 0 8 件</u>	<u>4 0 8 件</u>
(うち介護予防)		<u>6 1 件</u>
要介護度状況	: <u>平均要介護度 2 . 0 7</u> (要支援1・2を除く)	

2020年度 事業報告

施設名：青葉ハーティケアセンター

1. 総括

<通所介護>

コロナ禍の中での運営であったが、幸い罹患患者発生なく1年間営業する事が出来た。新規利用者也コンスタントに獲得し、体験利用者の紹介も途切れる事はなかった。又、感染による利用控えも思ったより少なく、大きく数字を落とすこともなかった。11月に管理者変更があったが、大きな混乱もなく年度を終えることが出来た。2021年度は介護報酬改定を迎え、通所介護にとっては大改編となる為、新たな加算取得に向け体制を構築していく。

<居宅介護支援>

管理者の変更、職員の異動があったが、人員体制は落ち着き、支障なく業務を遂行していくことができた。コロナ感染拡大によりタブレット端末を活用した在宅ワークもスムーズに取り入れて業務遂行にも大きな支障もなく臨むことができた。新規利用者の相談数は昨年度に比較して少なく、コロナ感染拡大によると思われるサービスの利用控えや病院施設からの退院退所の動きも鈍い。一方で入所入院も例年の通りにあり結果目標に足せずに収益改善には至らず。コロナ感染対策を講じ、青葉ハーティケアセンター内の各事業所と連携を図りながら、新規利用者の獲得、安定化をはかり収益改善、向上を目指していく。

<訪問看護>

1年間の実績として連携医療機関49か所（昨年から1.5倍増）連携居宅支援事業所は24か所。新規依頼は1か月平均7名。各医療機関や居宅からの新規依頼のリピーターも多く、利用者獲得と実績に繋がり、収益と黒字の安定化を実現できた。青葉ハーティケアセンター内の各事業所へ適時利用者を紹介することも、施設全体での利用者の確保と運営の活性化への原動力と考えており、実践してきた。今後もこの活動は継続し、また、他の連携機関との太いパイプ作りをすることで、地域に根差した訪問看護ステーションとして、さらなる利用者の獲得と黒字安定を目指していく。

<小規模多機能>

ノロウイルスの感染拡大が発生し、2週間の営業自粛があったが、年間通して職員の離職は無く、利用登録者平均28名を保つことが出来た為、プラス収支で運営する事が出来た。2021年度は利用者の泊り利用を増やして、更なる安定した運営を目指す。

<児童デイサービス>

8月開所後、予定人員の採用が難しく訪問支援の稼働が遅れた。11月からSWを配置し、人員基準の体制が変更になったことで訪問支援のサービスが開始できた。

また、送迎希望者への対応を増やした事で利用者確保は伸び、収益向上がみられている。今後は、更に専門職の配置により利用者獲得、収益向上を目指していく。

(今後の展開)

2021年度においては、各事業所ともに新型コロナウイルス感染症への対策を講じ、新規利用者の獲得、経営状況にあった体制の検討を行いながら、収益改善・向上はもちろん、サービスの質向上、職場環境の改善を目的にコロナ禍における研修体系の再構築、健康経営を意識した衛生管理体制強化に取り組む。また、ご利用者・家族への接遇はもちろん、来客者や職員同士の接遇強化にも取り組む。

2. 経営改善プロジェクト活動状況

<活動状況>

○運営会議（毎月1回）：4施設全体の経営改善にむけての検討をおこなった。

参加者：センター長、役職者（居宅、通所、小規模、訪問看護、経理）

○各部署会議（居宅・通所・小規模、訪問看護）（毎月1回）：各事業所内での経営改善にむけての検討をおこなった。

参加者：センター長、役職者（居宅・通所・小規模、訪問看護）

○通所主務者会議（毎月1回）：業務の効率化、経営改善にむけての検討をおこなった。

参加者：センター長、役職者、リーダー、看護師

○居宅会議（毎週1回）：業務の効率化、情報共有、サービスの質向上を目的として実施。

参加者：介護支援専門員全職員

○地域への参画（健康ステーションでの予防体操の実施（月1回））※コロナ禍で年度途中から見居合わせ

○地域ケア会議への参加：施設内空間スペースの活用の検討 ※コロナ禍でスペース活用については見合わせ

<成果>

○各事業所間で連携をはかり、利用者数の獲得につなげることができた。

○各事業所間での情報共有をおこなうことにより、経営上必要な課題点が明確になってきた。

○情報共有をおこなうことにより、お客様や各事業所担当者にたいしての早期対応、また業務の効率化をはかっていくことができた。

<今後の展開>

○新規利用者の獲得、既存利用者の確保、コスト意識をしていきながら、極力少ない費用と人員で収益を確保できるよう努めていく。

3. 職員状況（3月末現在）

○2021年3月31日職員状況

- ・生活相談員2名（内管理者兼務1名）、介護支援専門員5名（内小規模多機能型兼務1名）
- ・看護職員11名（内非常勤3名、産休1名）
- ・理学療法士2名、作業療法士1名、介護職員21名（内非常勤9名、休職者1名）
- ・事務職員1名、運転職員4名（内非常勤3名）
- ・合計47名（内非常勤16名）

○2020年度職員採用・退職等状況（出向者含む）

- ・採用13名：介護職員6名（内出向1名）、介護支援専門員1名、看護職員5名（内出向1名）、理学療法士1名
- ・転入 8名：介護職員3名、介護支援専門員兼介護職員1名、介護支援専門員2名、看護職員1名、作業療法士1名
- ・退職20名：看護職員6名、介護職員7名、介護支援専門員5名、理学療法士2名
- ・転出 3名：介護職員2名、事務職員1名

4. 研修参加・実施状況

○外部研修16回、延参加者数34名

災害現場を通して学んだこと、北海道リンパ浮腫医療従事者研修

道内高齢者施設クラスター2事例から考える新型コロナウイルス感染症対策

地域との連携・病院との連携の取り方～管理職の心構え、腹膜透析WEB基礎講座、ご遺体処置セミナー

在宅医療ならではの排泄コントロール勉強会、パーキンソン病を学ぼう

介護支援専門員専門研修Ⅰ・Ⅱ、実地指導と法令遵守～各加算・基準への理解、管理者研修、日常生活自立支援事業勉強会、

主任介護支援専門員の会・居宅介護支援事業所の会事例検討会、ケアマネジメント能力向上研修会、ライフサポートプラン研修

溪仁会リハビリテーション研修会、溪仁会グループ幹部職員セミナー、在宅医療支援サポート研修会

別区内の高齢者住宅を知ろう、高齢者虐待防止推進研修

○内部研修8回 延参加者数62名

在宅呼吸療法・喀痰吸引・嚥下内視鏡、カフティポンプ手技・手順、酸素同調器について、計画書・報告書の書き方

報酬と制度について、移乗方法について、虐待研修会、接遇研修会、地域包括主催虐待研修会

2020年度 事業報告

青葉ハーティケアセンター

【通所介護：一般型50名】

	目 標	実 績
延利用者数（一般型）	<u>9,165 人</u>	<u>8,484 人</u>
一日平均利用者数（一般型）	<u>29.7 人</u>	<u>27.4 人</u>
要介護度状況 一般型	：平均要介護度 <u>1.79</u> （要支援1・2を除く）	

【居宅介護支援】

	目 標	実 績
延作成件数	<u>1,739 件</u>	<u>1,623 件</u>
（うち介護予防）		<u>224 件</u>
要介護度状況	： <u>1.9</u> （要支援1・2を除く）	

【訪問看護】

	目 標	実 績
延派遣回数	<u>6,866 回</u>	<u>6,276 回</u>
（うち介護保険外）	<u>2,561 回</u>	<u>2,756 回</u>
一日平均利用者数	<u>27.7 人</u>	<u>25.7 人</u>
要介護度状況	： 平均要介護度 <u>2.4</u> （要支援1・2を除く）	

【小規模多機能型居宅介護：登録者定員29名（通い定員18名、宿泊6名）】

	目 標	実 績
延登録者数	<u>10,220 人</u>	<u>9,603 人</u>
※延通い利用者数		<u>4,424 人</u>
※延宿泊数		<u>704 人</u>
※延訪問数		<u>4,114 人</u>
一日平均登録者数	<u>28.0 人</u>	<u>26.1 人</u>
要介護度状況	： <u>平均要介護度 1.94</u> （要支援1・2を除く）	

【児童デイサービス：通所10名、居宅保育所等訪問1名】

	目 標	実 績
延利用者数	<u>1,166 人</u>	<u>981 人</u>
※延べ通所利用者数	<u>1,145 人</u>	<u>959 人</u>
※延べ訪問利用者数	<u>21 人</u>	<u>22 人</u>

2020年度 事業報告

施設名：円山ハーティケアセンター

1. 総括

<通所介護>

2020年度は、新型コロナウイルスの影響を強く受けた1年となった。特に市内の感染状況に応じて利用を控える方が多く、中央区の地域性なのか多い時では40～50名の方が利用控えでお休みされていた。また、高齢者住宅に入居されている方が、施設から外出制限されるケースも散見され、5月の緊急事態宣言下や12月の再流行時に利用者数の減少が顕著だった。

<居宅介護支援>

2020年度は、常勤4名、非常勤2名体制でスタートしたが、7月に常勤1名が退職となり、3月に異動（転入）により常勤1名が補充となったが、3月末で常勤1名が退職したことで担当件数は減少している。2021年度は、欠員の補充と安定した新規利用者の確保が重要な課題である。

<今後の展開>

通所介護については、まずは新型コロナウイルスの感染対策をしっかりと行い、クラスターを発生させないサービス提供を実践し、事業所の取組みを広報誌等で発信していくことで、安心してご利用して頂けるよう努めていく。更に今回の介護報酬改定で導入されたLIFEの対応として根拠のあるサービスを提供し厚労省からのフィードバックをサービス内容に反映させていく。

居宅介護支援については、新規利用者を安定して確保するために近隣の医療機関や包括等の関係機関との連携を強化していく。異動（転入）により常勤ケアマネ1名の補充を予定しており、人員が整い次第、特定加算Ⅲから特定加算Ⅱに戻す予定。

2. 経営改善プロジェクト活動状況

<活動状況>

○円山HCC運営会議：毎月1回：経営課題の検討、事業方針や方向性の検討。

参加者：円山HCCセンター長、各事業役職者

○通所介護運営会議：毎月1回：感染対策、業務の効率化、経営改善にむけて検討

参加者：管理者、役職者、リーダー職員、看護職員

○居宅介護支援事業所会議：毎週1回：業務の効率化、情報共有、サービスの質向上を目的として実施。

参加者：介護支援専門員全職員

<成果>

○新型コロナウイルスの感染対策として看護職員とも連携し業務上でのリスクの洗い出し、対策の強化を図ることができた。

○情報共有をおこなうことにより、お客様や各事業所担当者にたいしての早期対応、また、業務の効率化を図っていくことができた。

<次年度にむけて>

○新型コロナウイルスへの対応。徹底した感染対策の強化。罹患が発生した際の適切な対応。

○LIFE導入に伴い、業務体制の見直し、定着化を図る。

○安定した経営基盤の構築や稼働率向上に向けた検討、離職者ゼロの達成に向けて職員満足度の向上や労働環境の整備について検討。

3. 職員状況（3月末現在）

○2021年3月31日職員状況

・管 理 者： 2名（通所介護、居宅介護支援）	・生 活 相 談 員： 2名（通所介護）
・介護支援専門員： 4名（居宅介護支援）	・看 護 職 員： 4名（非常勤2名）
・言 語 聴 覚 士： 1名	・作 業 療 法 士： 1名（非常勤）
・介 護 職 員： 21名（非常勤8名）	・事 務 職 員： 1名
・運 転 職 員： 5名（非常勤）	・清 掃 職 員： 1名（非常勤）
・合 計： 42名（非常勤17名）	

○2020年度 採用・退職者状況（出向者含む）

採用：4名（介護職員2名、看護職員1名、事務職員1名）

退職：4名（看護職員2名、運転職員2名、介護支援専門員2名）

転出：3名（介護職員2名【円山⇒あおば】、事務職員1名【円山⇒あおば】）

転入：1名（介護支援専門員1名【敬樹園⇒円山】）

4. 研修参加・実施状況

○外部研修：認知症アロマケア研修会、リスクマネジメントセミナー、介護職定着化プロジェクト

札幌市ケア連・東区ケア連合同研修「コロナ感染対策について（ZOOM研修）」、道協主催「薬剤師との連携」、新入職員研修、新任役職者研修、介護支援専門員更新研修、「制度改正について（ZOOM研修）」、安全運転管理者講習等

○内部研修：（居宅）「個人情報について」（通所介護）「送迎車リフト操作について」、「利用者アセスメント（訪問業務について）」

2020年度 事業報告

円山ハーティケアセンター

【通所介護：一般型80名】

	目 標	実 績
延利用者数（一般型）	<u>20,861 人</u>	<u>16,417 人</u>
一日平均利用者数（一般型）	<u>67.5 人</u>	<u>53.1 人</u>
要介護度状況 一般型	： <u>平均要介護度 1.95</u> （要支援1・2を除く）	

【居宅介護支援】

	目 標	実 績
延作成件数	<u>1,788 件</u>	<u>1,491 件</u>
（うち介護予防）		<u>94 件</u>
要介護度状況	： <u>平均要介護度 1.88</u> （要支援1・2を除く）	

2020年度 事業報告

法人本部

1. 各部・課の活動状況

●経営管理部

【財務課】

- ・理事会（6月・7月・10月・1月・3月）、評議員会（6月）の開催
- ・経営管理会議の開催（毎月開催）
- ・各種補助金の請求等の支援
- ・定款変更等行政に対する認可申請事務（7月）
- ・経理規程の改正
- ・決算・予算及び各月次確定財務諸表作成事務
- ・財務諸表等電子開示システム活用による行政等への申請（6月）
- ・各種会議への参加、他
- ・改正社会福祉法に関する会計監査人による会計監査の実施（期末5月、中間11月・12月）
- ・監事監査の実施（6月・7月・10月・1月・3月）
- ・ビジョン福祉40 夢プロジェクトの開催（9月）

【情報システム課】

- ・ICTロードマップ（2017年度～2021年度）の則り推進
- ・介護システム更新プロジェクトの発足
- ・介護LIFEシステム環境の導入支援
- ・セキュリティ対策として外部メールのパスワードの一斉変更を実施（全施設）

【購買担当】

- ・業者協力により、屋上防水劣化状況及び修繕方法の確認を実施
- ・劣化が著しく漏水発生している施設の修繕を実施

●人事部

- ・人事検討会議の開催（１２回開催）
- ・人事評価制度の定着と活用の推進
- ・法人広報による魅力発信
- ・キャリア向上のための資格取得支援
- ・障害者雇用の推進と理解の浸透
- ・外国人留学生・外国人技能実習生の受入支援

【総務担当】【総務課】

- ・受託業務の申出・契約・請求等の支援
- ・電源地域補助金の審査依頼・請求等の支援（岩内ふれ愛の郷）
- ・キャリアアップ助成金、人材開発支援助成金の申請等の支援
- ・就業規則、給与規程等の改正
- ・職員の定数管理
- ・時間外勤務状況の管理
- ・年次有給休暇取得状況の管理

【キャリア支援担当】【キャリア支援課】

- ・法人本部主催のテーマ別研修会の開催（５回：参加者 延１６８名）
- ・接遇研修の開催
 - 接遇実践報告の開催（１回：参加者 延 ３５名）
- ・職員が辞めない職場づくりセミナーの開催（２回：参加者 延 ３１名）
- ・新入職員研修の開催（３回：参加者 延 ５７名）
- ・新入職員フォローアップ研修の開催（３回：参加者 延 ２９名）
- ・中堅管理職講座の開催（４回：参加者 延 ７０名）
- ・中高年セルフマネジメント研修の開催（２回：参加者 延 ２２名）
- ・受験対策講座
 - 介護福祉士受験対策講座の開催（５回：参加者 延 ６７名）
- ・テレビ会議システムによる研修会・各種講座の支援（テレビ会議受講者：延３８５名：昨年より２０４名増加）
- ・ストレスチェック実施支援：受検率８５．３％（９．４ポイント増加）

●事業推進部

【リハビリ担当】【リハビリ課】

- ・法人リハ代表者会議（２月）
- ・リハビリ課定例会議（毎月）
- ・溪仁会グループリハ責任者会議（毎月）
- ・溪仁会グループリハ研修委員会 委員２名（隔月）
- ・老健リハ会議（６・１２月）
- ・特養リハ会議（７・１月）
- ・訪問系リハ会議（７・１月）
- ・通所介護リハ会議（８・２月）
- ・ＳＴ合同会議（８・１１月）
- ・職員の各施設への訪問

（コミ美唄とテレビ会議にて適宜実施、生活機能向上連携加算の枠組みで各連携セラピストが電話連絡等により実施）

- ・養成校の就職説明会（オンライン・情報提供等）参加（２校）
- ・養成校への求人
- ・職能団体への募集広告活動実施
- ・リハ職・学生向けのリクルート用動画の制作
- ・高校生向けの修学資金貸付制度の開始と当該高校への挨拶訪問を実施（６校）
- ・溪ＧＰ新人職員病院説明会（今年度は開催なし）
- ・溪ＧＰリハ研修会（オンライン）、社福リハ職９名参加（１０月）
- ・溪ＧＰリハ交流研修は、今年度は中止
- ・社）溪仁会リハ部門合同研修会（オンライン）「地域医療の実践について」４９名参加（９月）
- ・コミ白石・あさがおリハ研究発表会（３～４月・計５回）
- ・法人内施設・事業所への講師派遣（延５０名）、外部への講師派遣（なし）
- ・施設間の異動や人員の調整（異動２名）
- ・言語聴覚士派遣（毎月）：敬樹園、月寒、手稲、きもべつ、るすつ、コミ美唄、コミ岩内
- ・作業療法士派遣（毎週）：喜茂別町立クリニック
- ・療法士派遣

コミ八雲：通年１名（延４名）

コミ美唄：１名

（生活機能向上連携加算／毎月）

特養：敬樹園、月寒、手稲、菊水、きもべつ、るすつ、ふれ愛

ＤＳ：白石の郷、円山、手稲つむぎ、手稲織彩、敬樹園、月寒

ＧＨ：白石の郷

- ・喜茂別町地域支援事業（毎月）
- ・ＳＴ合同会議から、ＭＡＳＡ、ＭＭＡＳＡ（運下障害アセスメント）、ＣＯＮＵＴ（栄養評価指標）の運用開始
- ・研究発表（溪仁会グループ研究発表会：なし）
- ・各施設リハ部門の内部研修の水平展開
- ・毎月の現況報告による各施設・事業所のリハビリ部門の情報収集
- ・介護報酬のリハ関連加算取得の推進
- ・訪問系リハ事業の拡大
- ・各事業のリハ会議にてリハ添書の在り方を検討し、仕組みの構築に向けて調整
- ・実習受入施設の拡大と臨床実習指導者講習会に参加（２名）
- ・地域での他職種向け研修会、介護予防教室、地域ケア個別会議、地域ケア推進会議等への派遣（２６名）

【業務管理担当】【業務管理課】

- ・新規事業の開設支援（児童デイサービス）
- ・監督官庁実地指導（監査）立会い（1事業所）
- ・事業所事故報告確認（監督官庁報告207件）
- ・KMS推進支援（KMS会議・KMS内部監査・ISO維持更新審査）
- ・相談援助職支援（医療福祉介護連携会議・相談職ミーティング）
- ・研修支援（リスクマネジメント・虐待防止）
- ・苦情対応に関する支援（第三者委員含む）
- ・法令遵守に関する支援（相談対応）
- ・新型コロナウイルス感染症に関する体制整備（マニュアル作成、備蓄品管理、情報収集）

【地域支援事業担当】【地域支援事業推進課】

- ・後志4町村（喜茂別町、積丹町、ニセコ町、島牧村）遠隔健康支援事業
「介護現場における新型コロナウイルス感染予防対策について」職員合同研修会開催
- ・喜茂別町地域支援事業
- ・喜茂別町保健事業
- ・積丹町介護予防事業
- ・積丹町保健事業
- ・ニセコ町社会福祉協議会事業
- ・北海道ヘルスケア産業振興協議会事業協力
- ・地域における公益的な取組に関する情報収集と共有化

【栄養管理担当】

- ・介護報酬の栄養関連加算取得の把握（各施設からの月報取り纏め）
- ・日本人の食事摂取基準（2020年度版）の改正の伴う運用・適正の確認
- ・購買評価により給食委託業者の評価を共有化
- ・利用者満足度向上の為のアンケート調査の実施
- ・サラネット栄養士レシピ原稿担当調整（2021～2022）
- ・介護報酬改正に備えた栄養管理研修（札幌市内栄養士全員参加）